

組立説明書



ディーズシェッド 引き戸物置A D50

このたびは Dea's Garden 製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

正しく組み立てをしていただくために、組立説明書をよくお読みください。

〈組立の前に〉

- ◆物置の土台となる部材を必要数ご用意ください。※本製品には含まれていません。
本説明書では例として半ブロック6個を使用していますが、必要に応じて他の部材に置き換えてください。
半ブロックは建材店、ホームセンターなどでお求めになります。
- ◆設置場所が土または砂利の場合、アンカー設置用として基礎ブロックをご用意ください。※本製品には含まれていません。
- ◆組立には脚立が必要です。
- ◆組立には下記の工具が必要です。(以下の工具は部品箱に同梱されています)
・プラスドライバー ・ボックスドライバー ・板スパナ ・水準器
- ◆物置庫内の組立時に暗くて作業しづらい場合、懐中電灯などの照明をご用意ください。

安全上のご注意

- ◆お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

⚠️警告 「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容

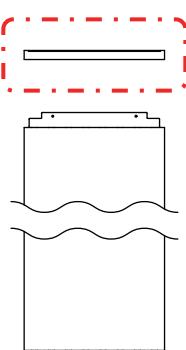
- ◆組立の際には手袋・長袖・長ズボンなどを必ず着用してください。部材の角などで怪我をする恐れがあります。
- ◆お客様ご自身で組立をされる場合は、安全のため必ず2人以上で組立を行なってください。
- ◆組立が不十分だと強風などで外れる恐れがあります。この組立説明書に従い確実に固定してください。
- ◆強風時など、周囲の安全が確保できない場合は、危険ですので施工しないでください。
- ◆本製品は密閉タイプではありません。組立式の構造上、光漏れや雨水の浸入、粉雪の舞い込み、ほこりや小動物・虫などが侵入する場合があります。

⚠️注意 「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容

- ◆開梱時に部品の種類と数量をご確認ください。
- ◆商品に異常がないことをご確認ください。

※FRP前パネルは、各ページでそれぞれのタイプの梱包明細・組立手順をご確認ください。

デザインタイプA
(リコシスタ等)



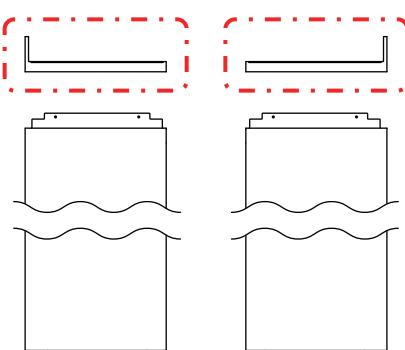
梱包明細表

→別紙を参照

組立手順

→P.27、P.28 を参照

デザインタイプB
(カンナシスタ等)



梱包明細表

→別紙を参照

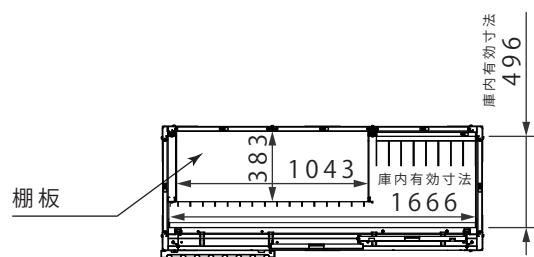
組立手順

→P.29、P.30 を参照

施工寸法図 (単位:mm)

D50 共通寸法

※このページの図は
全て右開きの場合です。
左開きの場合は
左右対称となります。



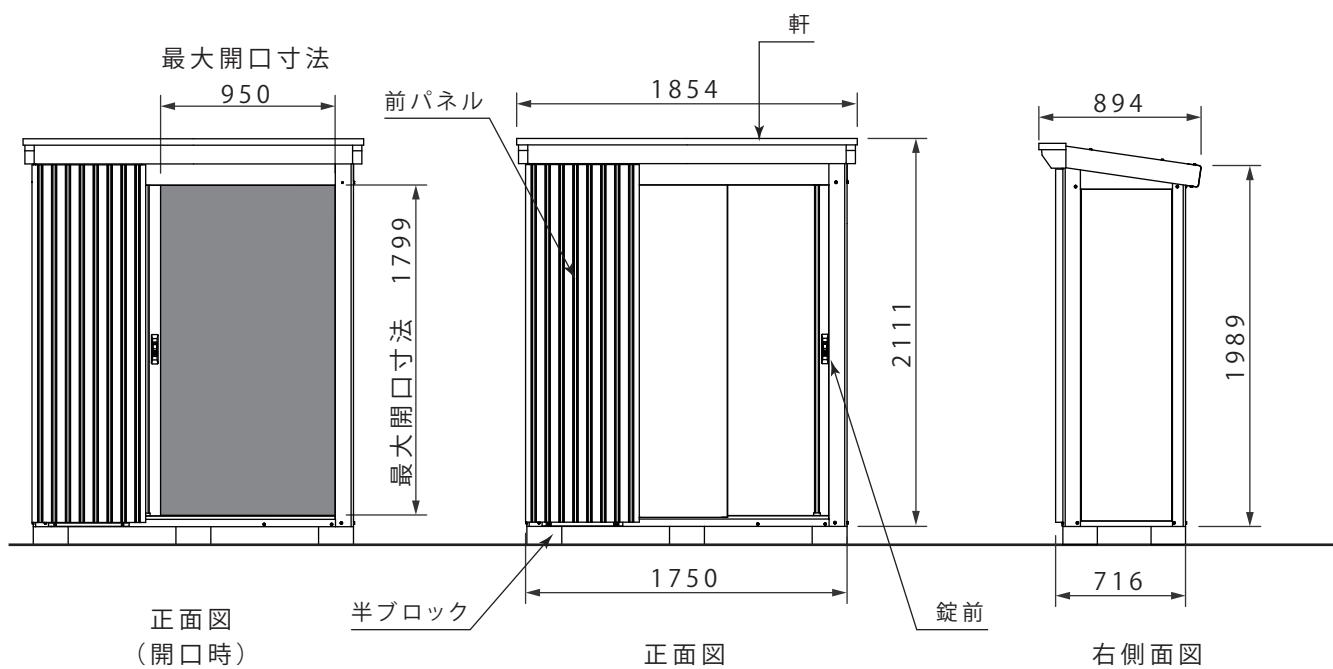
庫内有効寸法

W=1666 H=1830 D=496

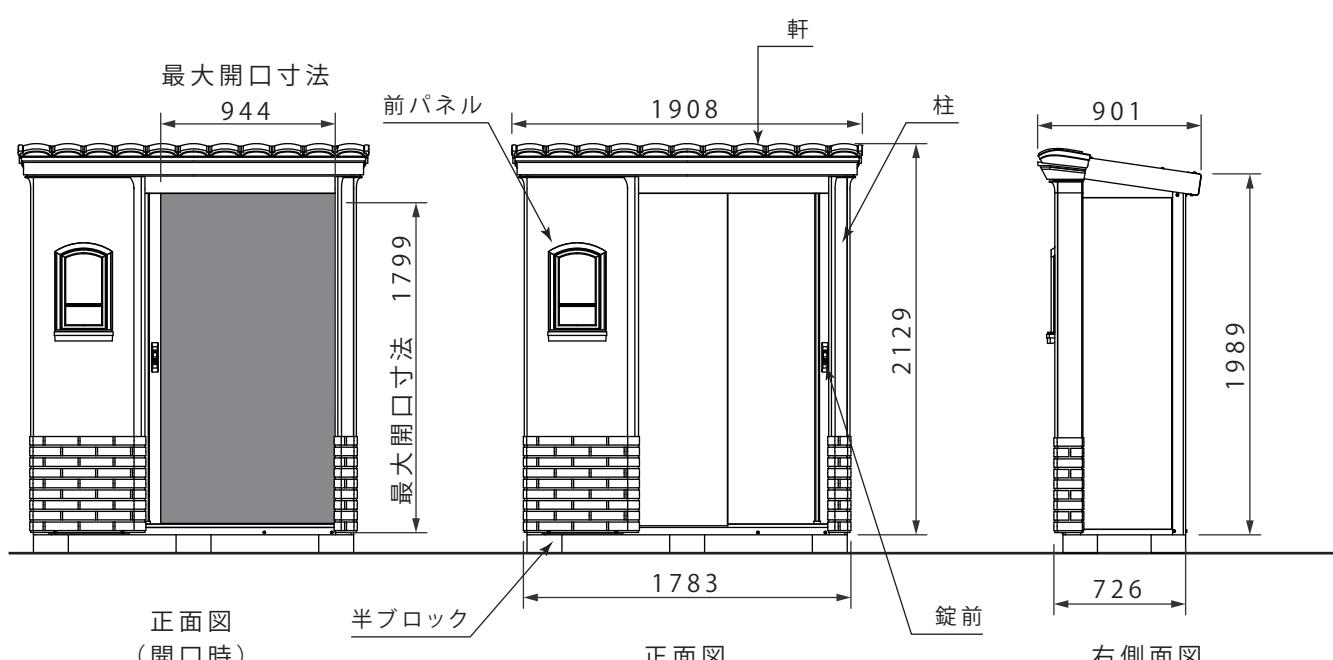
棚板寸法

W=1043 D=383

FRP 意匠部 デザインタイプA 寸法 (例: リコシスタの場合)



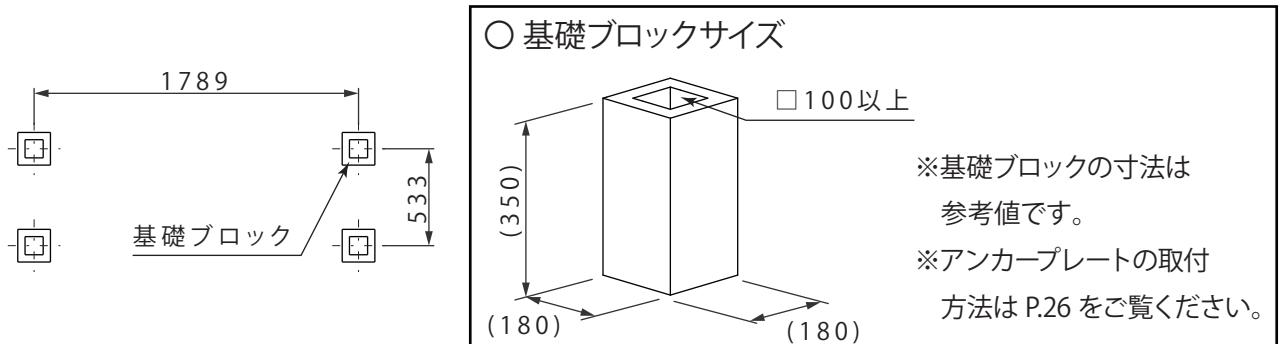
FRP 意匠部 デザインタイプB 寸法 (例: カンナシスタの場合)



施工手順 (単位:mm)

1 アンカープレート用基礎の準備、基礎ブロックの配置

- (1) 設置場所が土または砂利の場合、あらかじめアンカープレートが来る位置に基礎ブロック4個を埋め込みます。(設置場所がコンクリートの場合は除く)



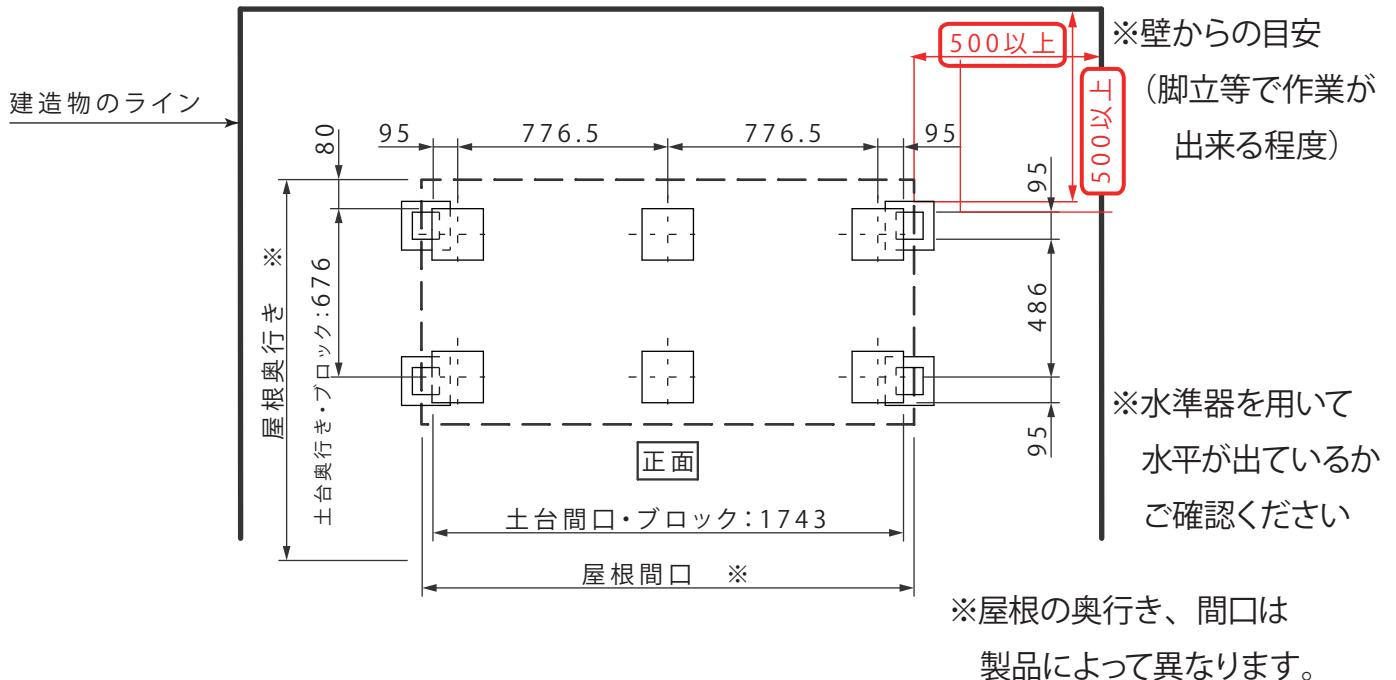
- (2) 地ならしをして、十分に地固めしてください。

※不十分だと後の工程で、屋根と物置本体との組立に支障が出る恐れがあります。

(組立説明書 12 ページ目 手順 8 を参照)

- (3) コンクリートブロック（半ブロック）を6個並べます。

※コンクリートブロック（半ブロック）のサイズ：190×190×100



◎ ねじの「仮締め」と「本締め」について

「**仮締め**」とは、部材同士は動く程度に軽くねじ込んでいる状態です。

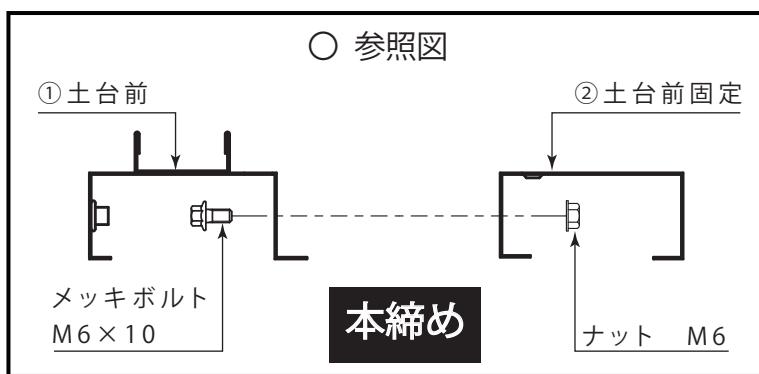
「**本締め**」とは、工具を使用し、しっかりと締め込むことを指します。

本説明書では、各工程ごとに「仮締め」と「本締め」を表記していますので手順に沿って使い分けて組立てください。

施工手順 (単位:mm)

2 土台の組立

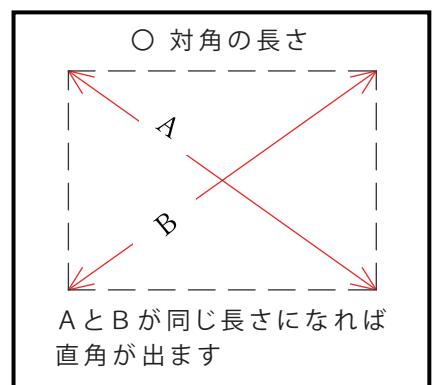
- (1) ①土台前、②土台前固定で土台前を作ります。
※メッキボルト、ナットで連結します。(1力所)



使用部品

番号	部品名称	数量
①	土台前	1
②	土台前固定	1
③	土台後	1
④	土台横 左	1
⑤	土台横 右	1
部	品	箱
メッキボルト	M6×10	7
ナット	M6	1
床板当て		4

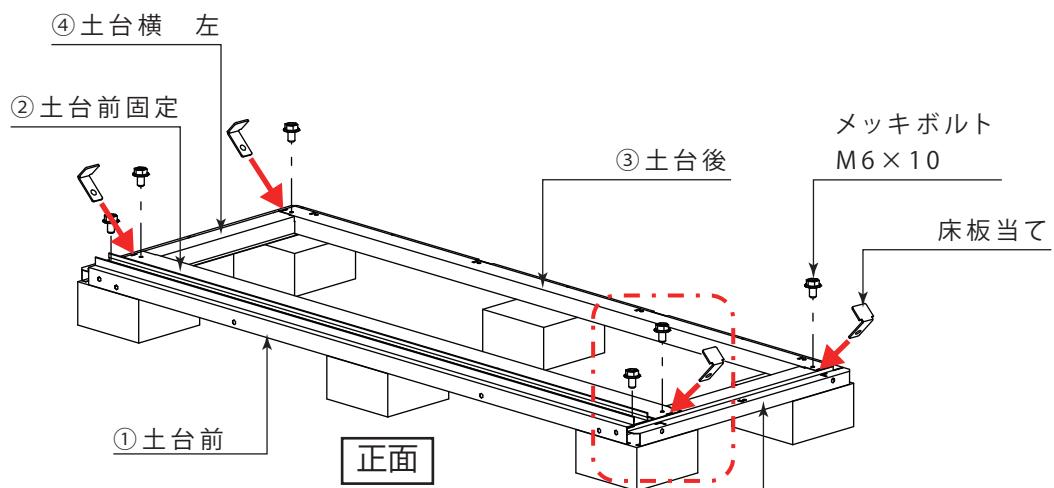
- (2) ①②土台前、③土台後、④土台横 左、
⑤土台横 右で枠を作ります。
※四隅が直角になるように調整してください。
(対角の長さを等しくすると直角が出るようになります)



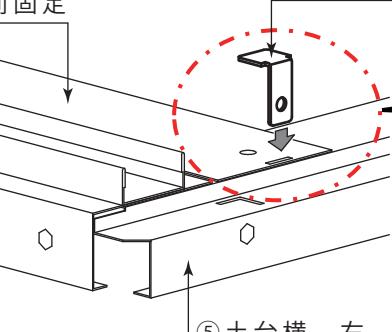
仮締め

↓
(2) 土台の調整

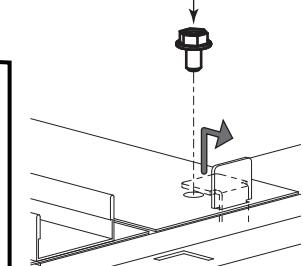
本締め



② 土台前固定



メッキボルト
M6×10



施工手順 (単位:mm)

3-① 床板の組立

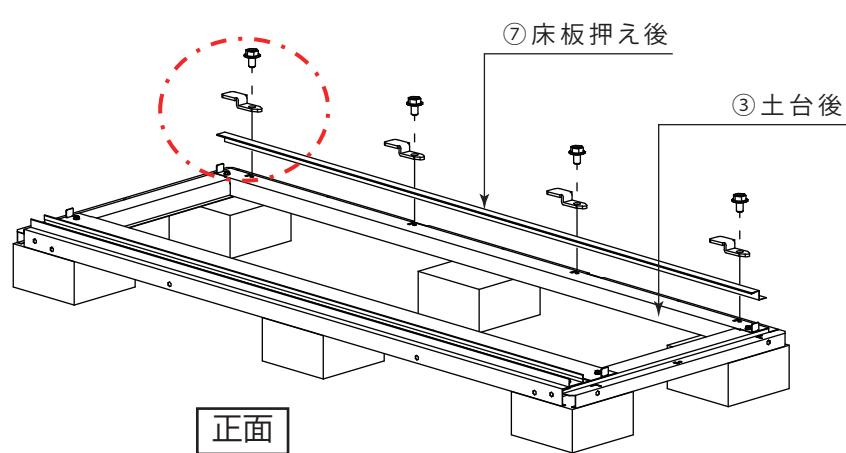
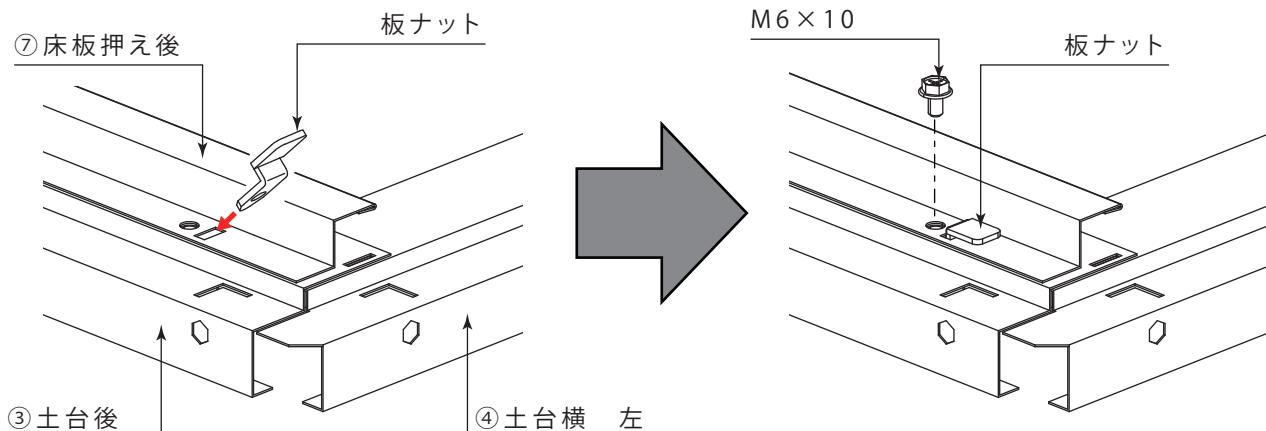
- (1) ③土台後に⑦床板押え後を取付けます。
- (2) ⑧床板を左から12枚並べ、
最後に⑨目地材を並べます。(次ページ上図へ)
- (3) ②パネル固定に⑩床板押え前を取付けます。
(次ページ下図へ)

使用部品

番号	部品名称	数量
⑦	床板押え後	1
⑧	床板	12
⑨	目地材	1
⑩	床板押え前	1

部品箱	メッキボルト M6×10	4
	カラー ボルト M6×10	4
	板ナット	4

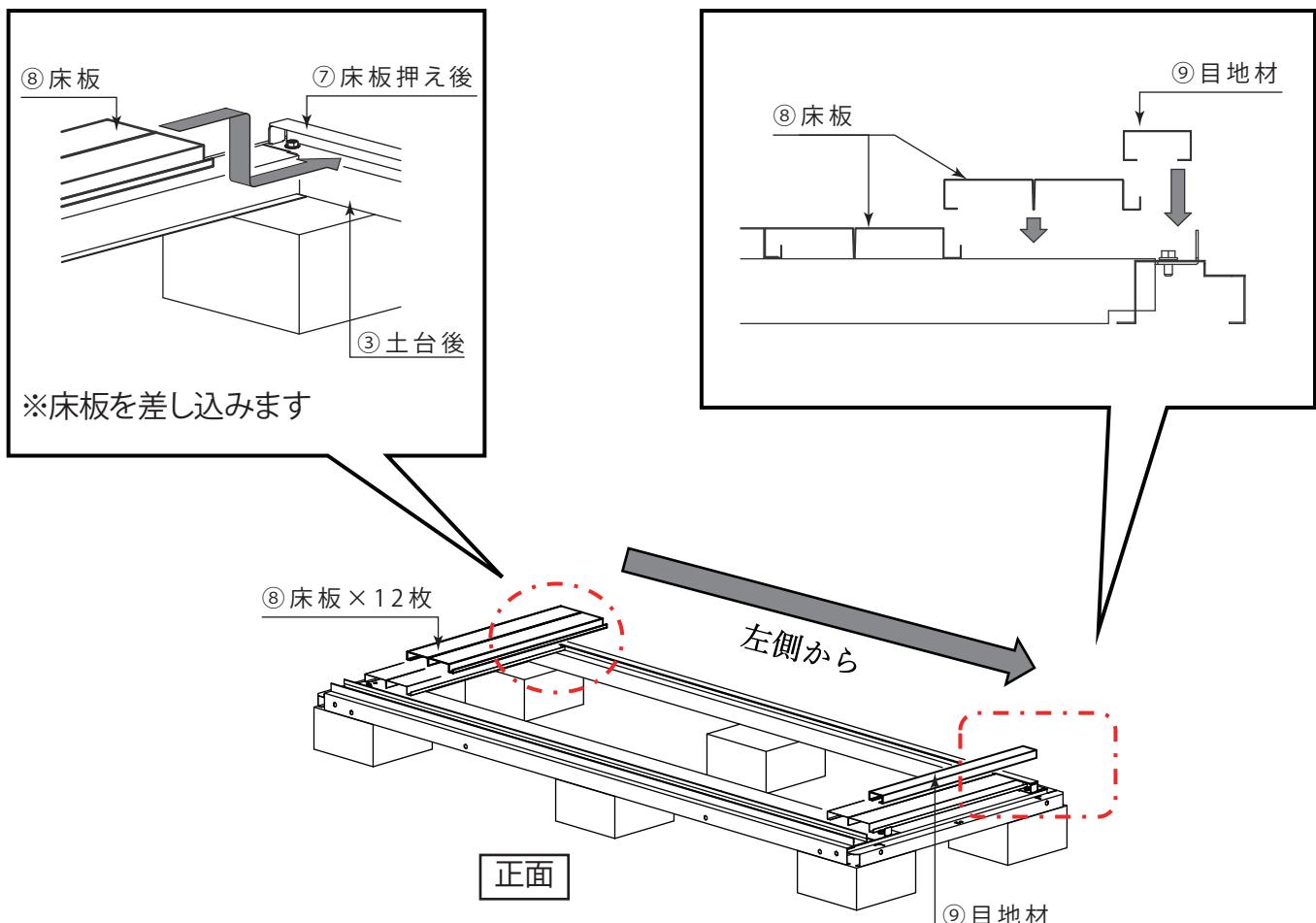
○ 板ナットでの取付方法



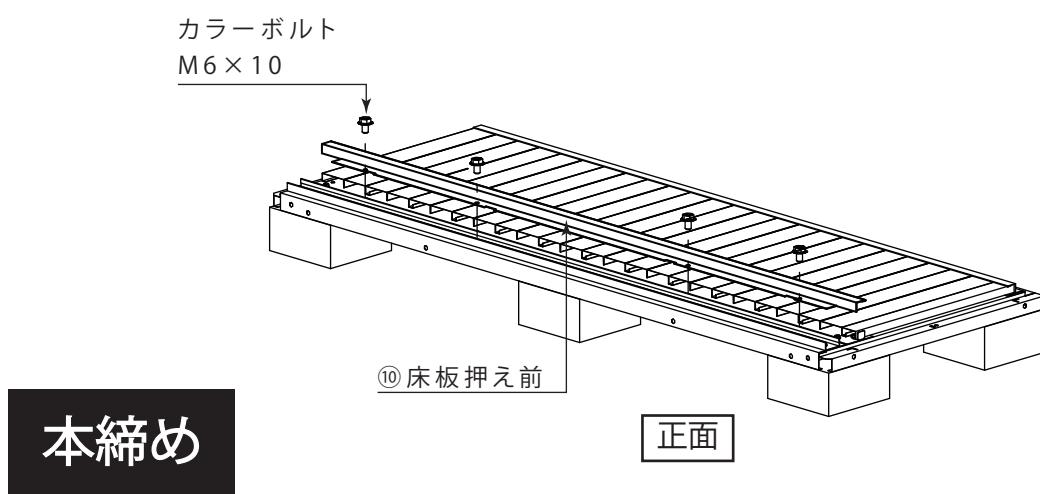
本締め

3-(2) 床板の組立

(2)



(3)



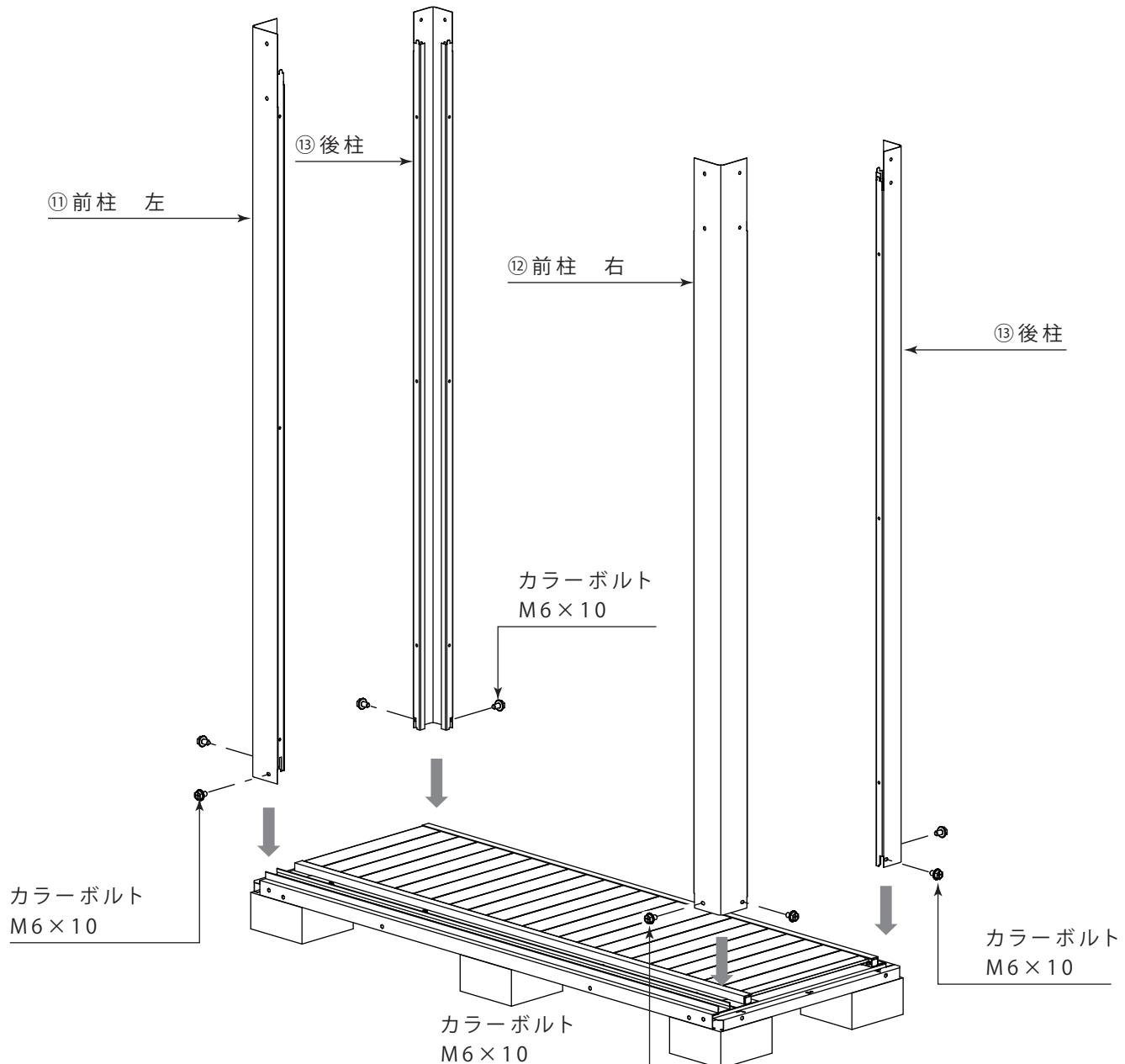
施工手順 (単位:mm)

4 柱の組立

- (1) ⑪前柱 左、⑫前柱 右、⑬後柱 2本を
土台の四隅にそれぞれ取付けます。

使用部品

番号	部品名称	数量
⑪	前柱 左	1
⑫	前柱 右	1
⑬	後柱	2
部品箱	カラー ボルト M6×10	8



本締め

施工手順 (単位:mm)

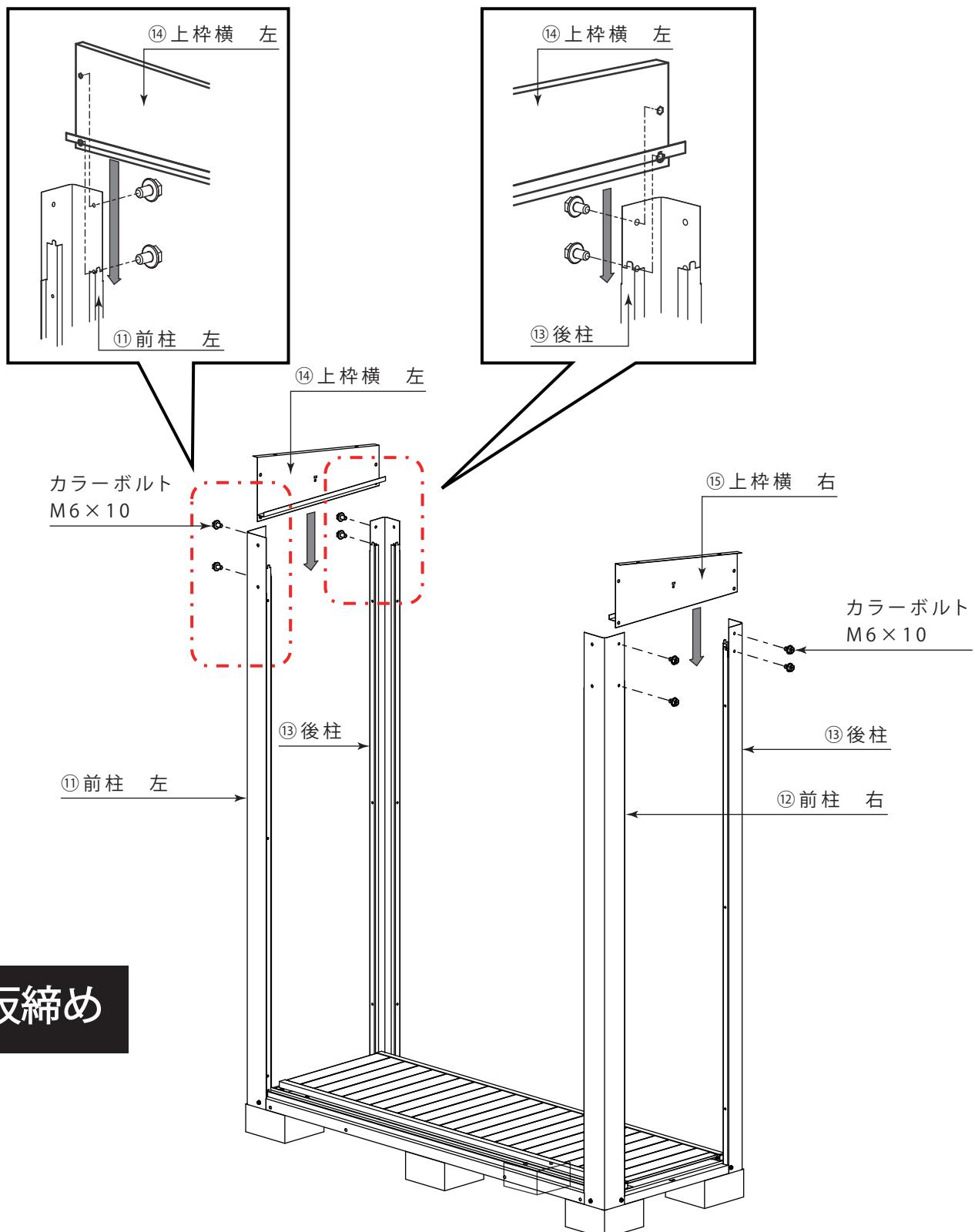
5-① 上枠の組立

- (1) ⑯上枠横 左、⑯上枠横 右を
 ⑪前柱 左、⑫前柱 右、⑬後柱の内側に
 それぞれ取付けます。

使用部品

番号	部品名称	数量
⑯	上枠横 左	1
⑯	上枠横 右	1
⑯	上枠前	1
⑯	上枠後	1

部品箱	カラー ボルト M6×10	16
	スポンジシール	2



5-(2) 上枠の組立

(2) ⑯上枠前、⑰上枠後の上部にスponジシールを貼付けます。

※貼り付ける際には、端から端まで均等に貼付けます。

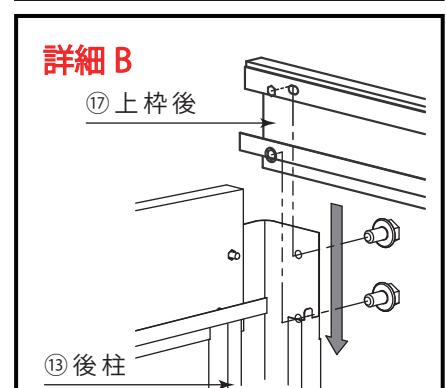
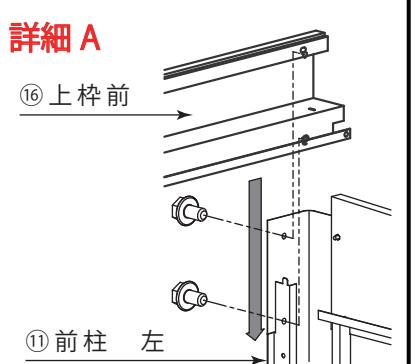
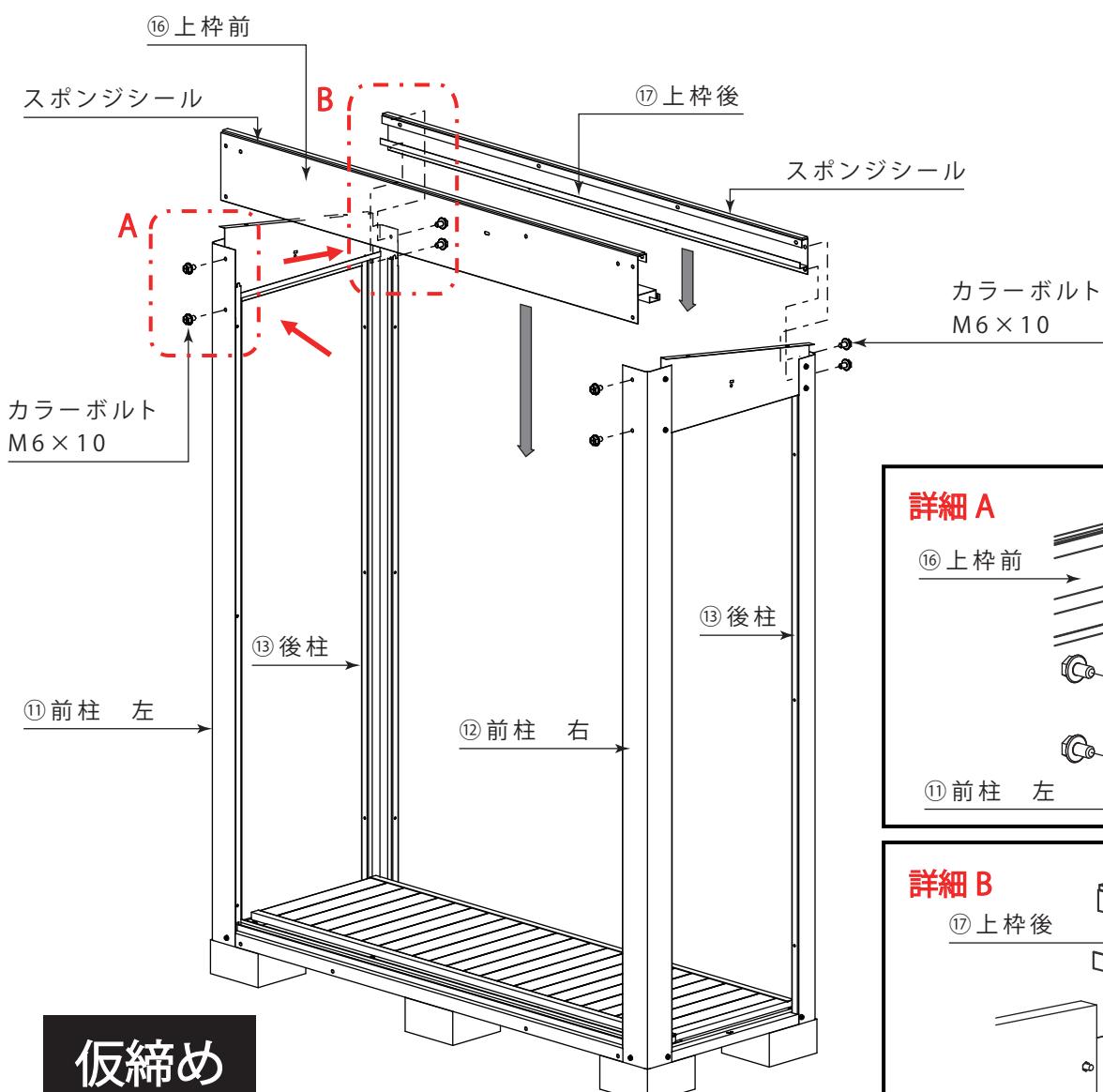
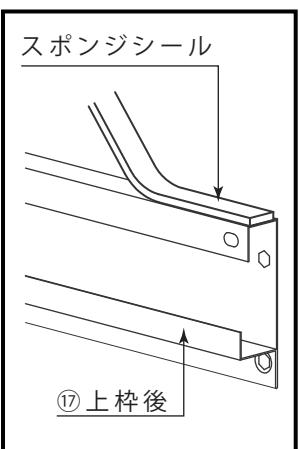
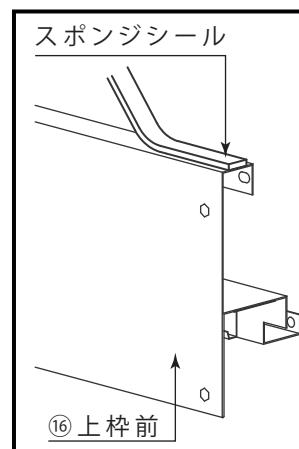
※使用する際には、保護紙を剥がしてください。

※スponジシールは必ず貼付けてください。

貼付けないと雨漏りの原因になります。

(3) ⑯上枠前を⑪前柱 左、⑫前柱 右に取付けます。

(4) ⑰上枠後を⑬後柱に取付けます。



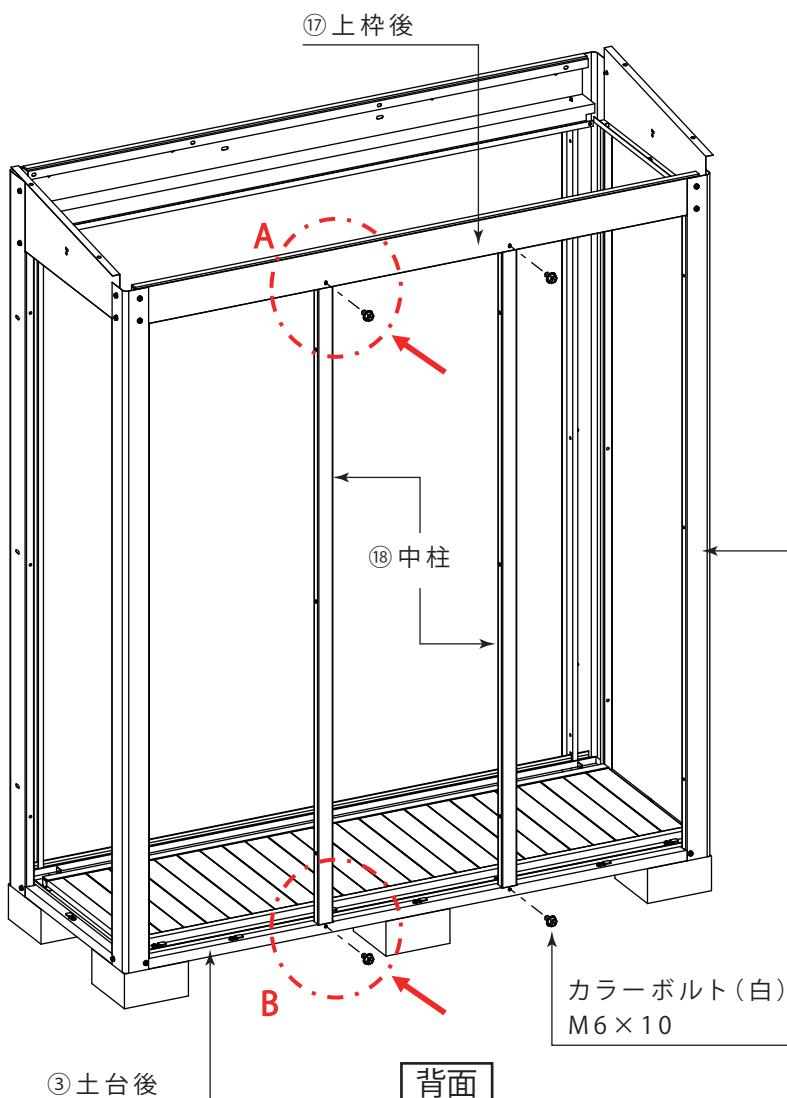
施工手順 (単位:mm)

6 中柱の組立

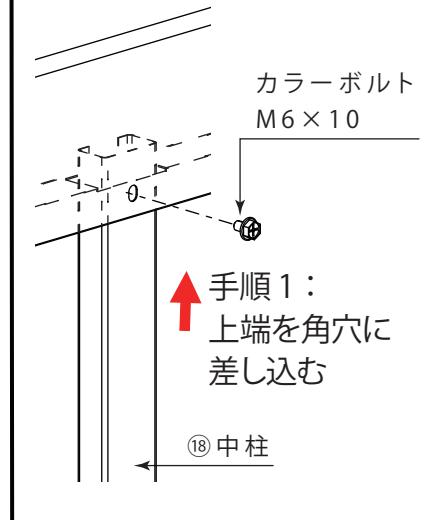
- (1) ⑯中柱を上端から⑰上枠後の角穴に差し込み、下端を③土台後の角穴に差し込み取付けます。

使用部品

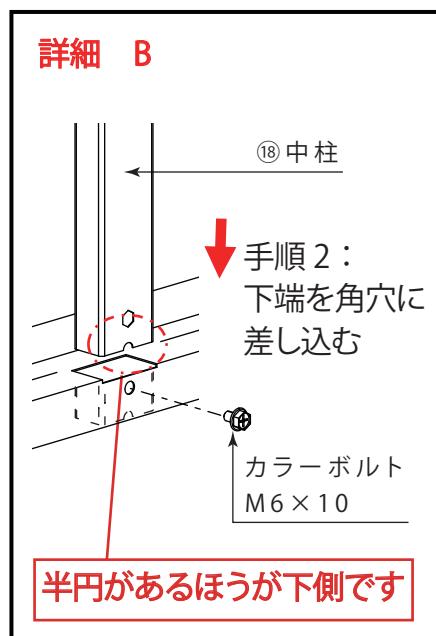
番号	部品名称	数量
⑯	中柱	2
部品箱	カラー ボルト M 6 × 10	4



詳細 A



詳細 B



仮締め

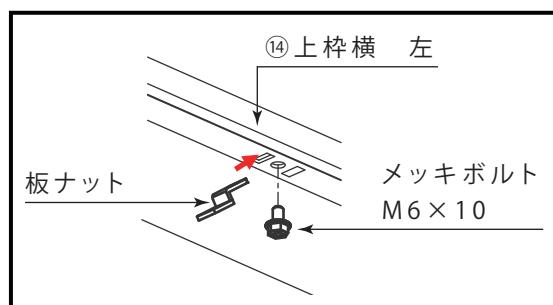
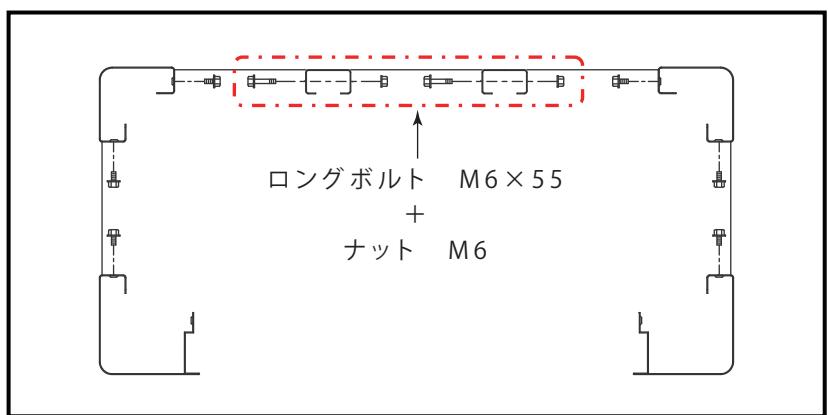
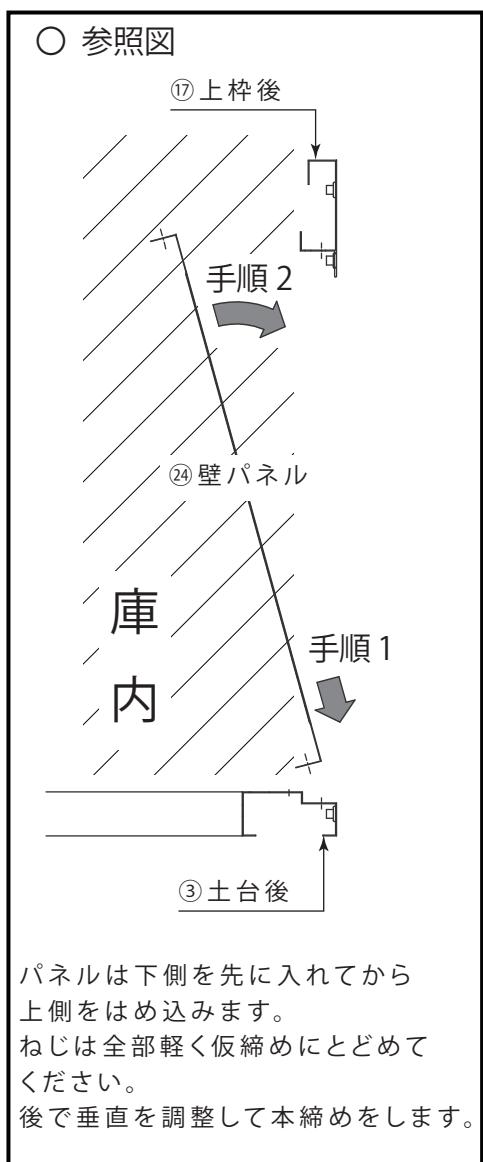
施工手順 (単位:mm)

7 壁パネルの組立

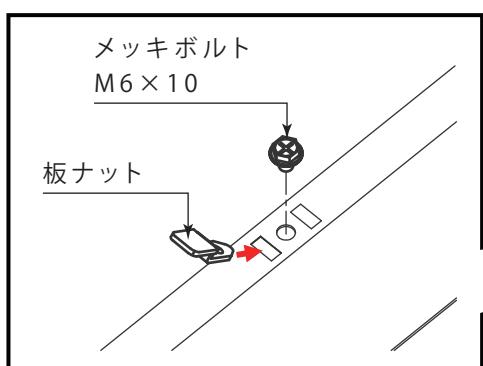
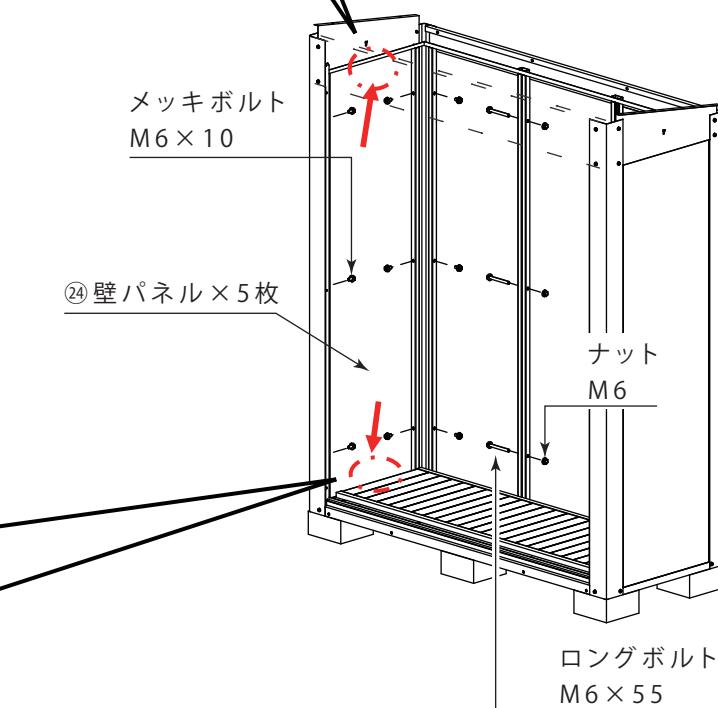
- (1) 物置の内側から②壁パネルを取付けます。
※下側を先に入れてから上側をはめ込みます。
(下記参考図)

使用部品

番号	部品名称	数量
②	壁パネル	5
部品箱	メッキボルト M6×10	28
	ロングボルト M6×55	6
	ナット M6	6
	板ナット	10



仮締め



施工手順 (単位:mm)

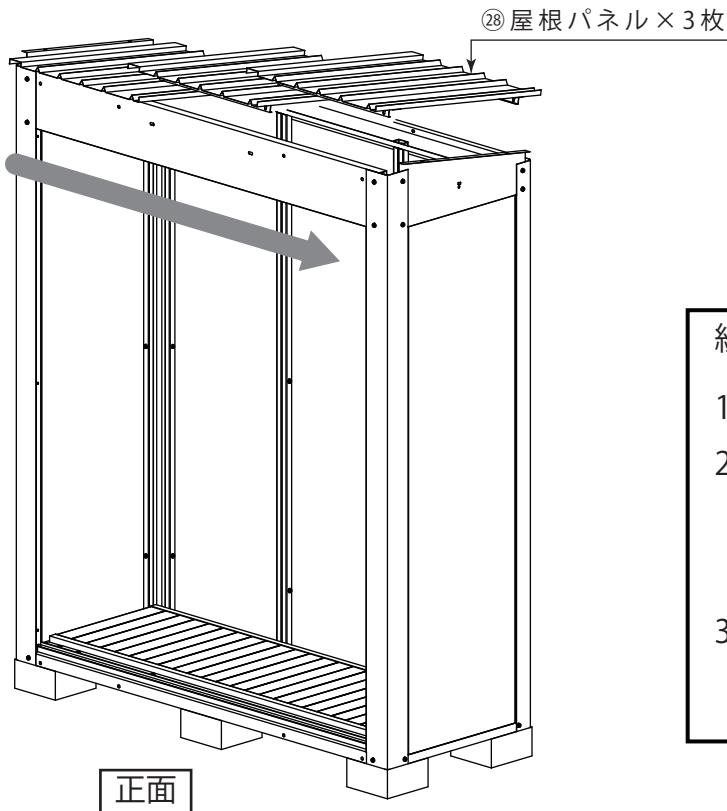
8 屋根の組立

(1) 向かって左側から⑧屋根パネルを並べていきます。

(2) ⑧屋根パネルを⑯上枠前、⑰上枠後に物置の内部から固定します。

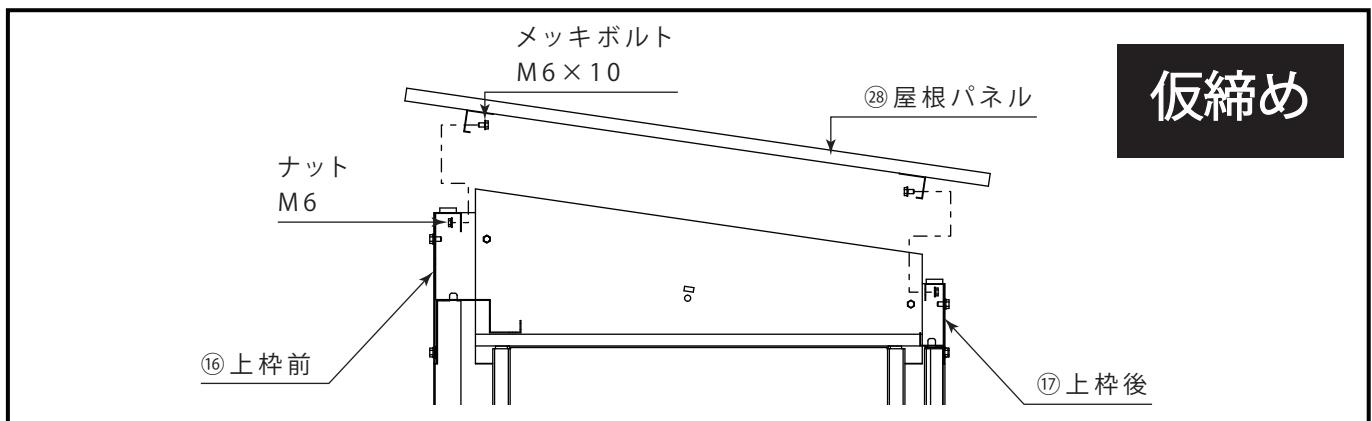
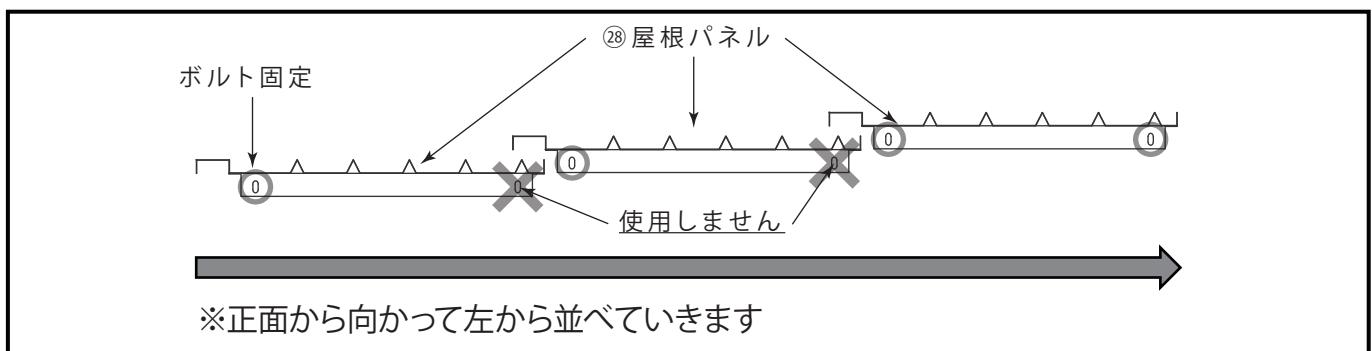
使用部品

番号	部品名称	数量
⑧	屋根パネル	3
部品箱	メッキボルト M6×10	8
	ナット M6	8



組立のヒント

- 1: ⑧屋根パネルを左から1枚置きます。
- 2: ねじを仮締めします。
※まず全てのねじの先端を数回転だけ回し入れます。
- 3: 同様の手順で中央、右端の⑧屋根パネルを取付けます。



施工手順 (単位:mm)

9-① 後扉の組立

(1) ⑯後扉の下側に扉振れ止めと後扉框水切りを取り付けます。(下記参照図)

(2) ⑯後扉の上側に⑰戸車金具(後扉用)を取り付けます。

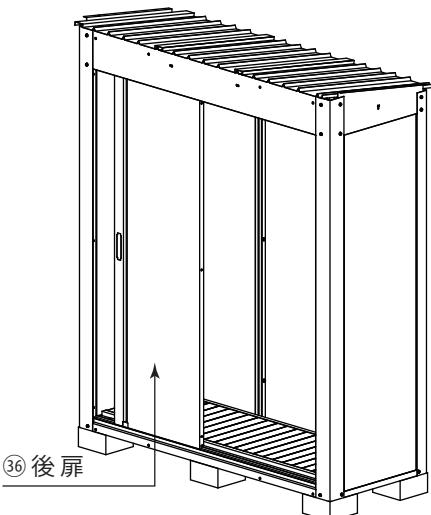
(3) ⑰戸車金具(後扉用)に⑪扉ガイドを取り付けます。

使用部品

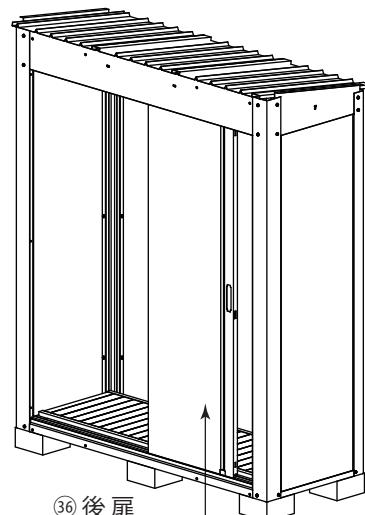
番号	部品名称	数量
⑯	後扉	1
⑰	戸車金具(後扉用)	1
⑪	扉ガイド	1
⑯	後扉框水切り	1

部品箱	扉振れ止め	2
	メッキボルト M6×10	2
	座金組込ナベ頭ビスM4×10	2
	座金組込ボルト(扉用) M6×12	6
	高さ調整ボルト M6×30	2
	スプリングワッシャー付きナット M6	2
	戸当りゴム	2

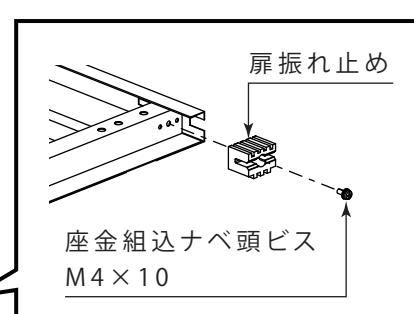
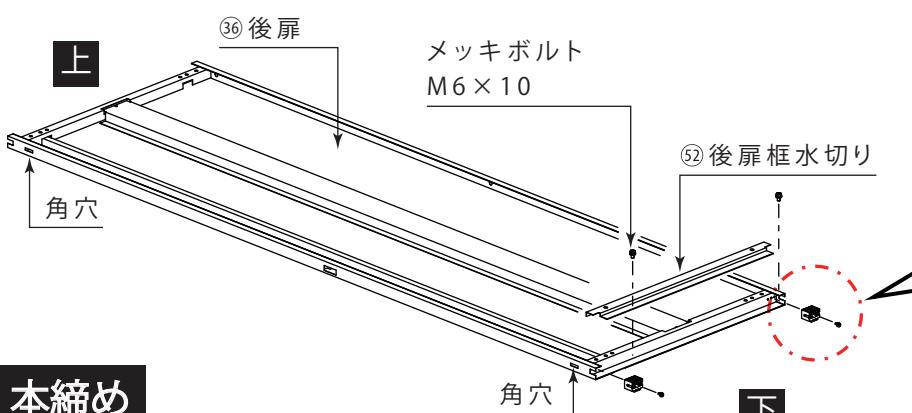
左開き



右開き



○ 参照図



本締め

※図は右開きの場合

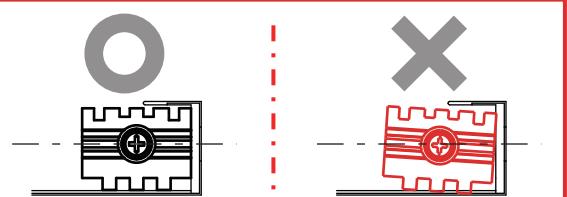
※左開きの場合は

上下が逆になります

※扉振れ止めは、扉に対して平行に取付けてください。

斜めに取り付くと、下レールに干渉して

扉の動作が重くなります。

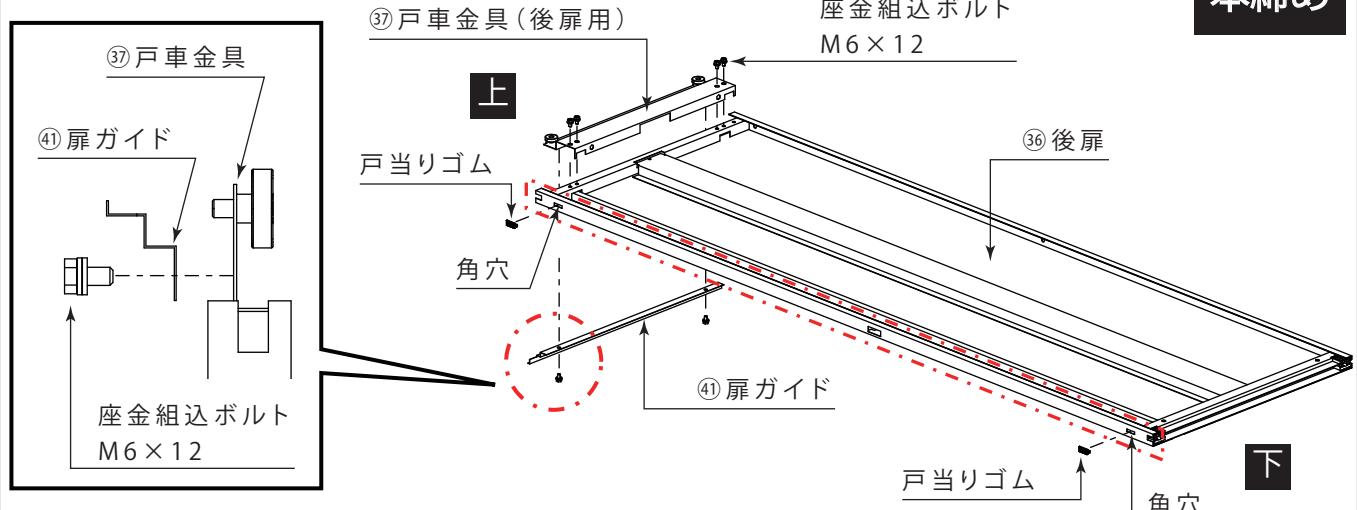


施工手順 (単位:mm)

9-② 後扉の組立

○ 右開きの場合

本締め

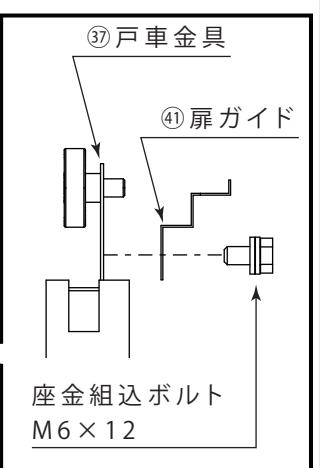
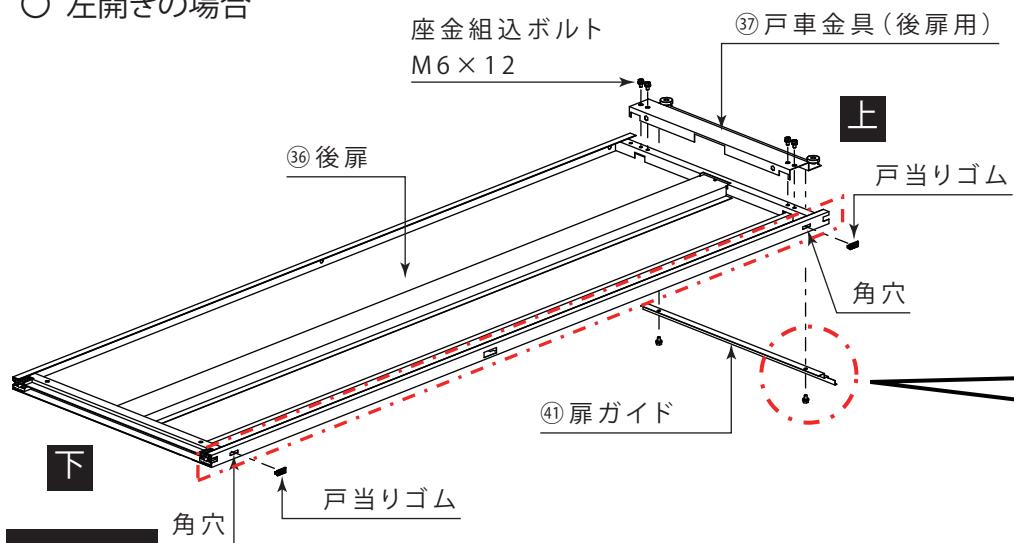


○ 左開きの場合

本締め

座金組込ボルト
M6×12

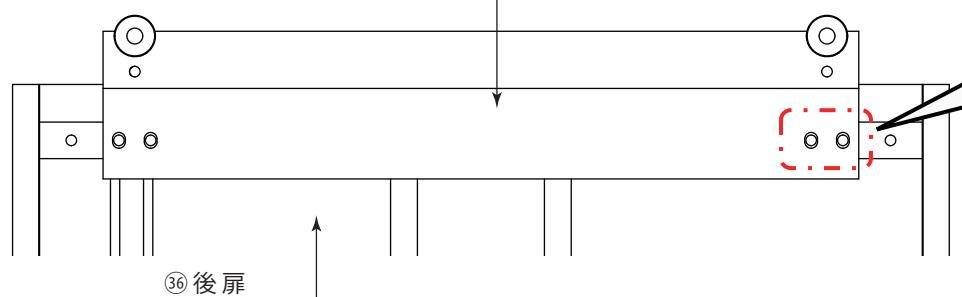
戸車金具 (後扉用)



本締め

※後扉の上下方向は、側面に角穴が開いている向きを確認

戸車金具 (後扉用)



取付位置は中心に
なるようにしてください

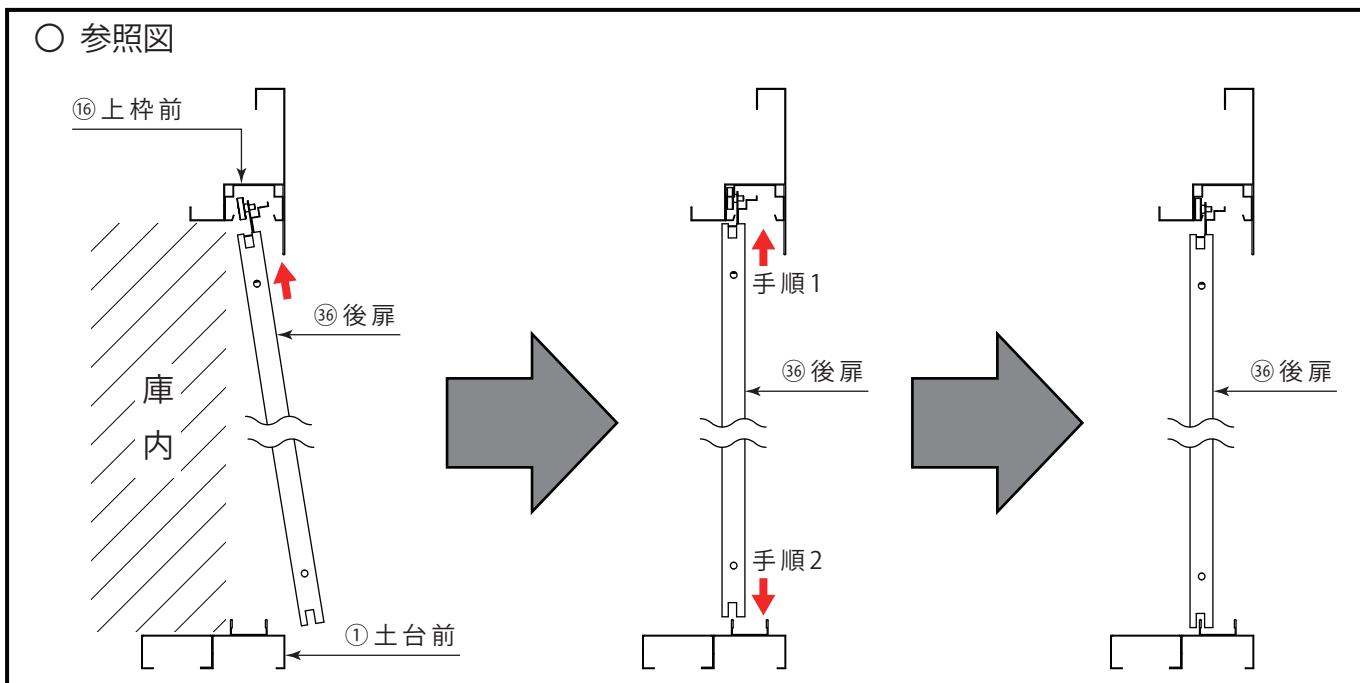
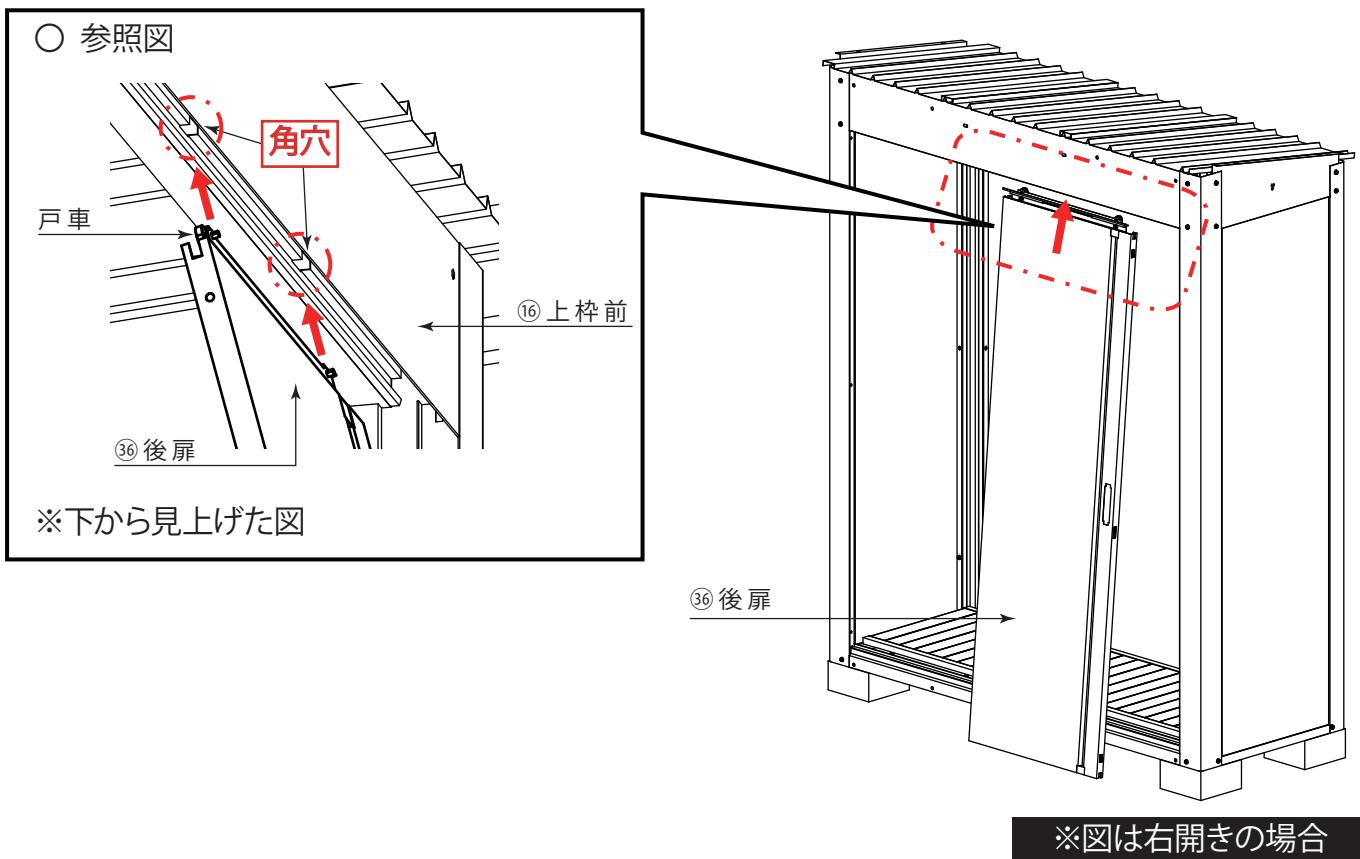
※図は右開きの場合

9-③ 後扉の組立

(4) ⑬後扉を本体に取付けます。

※⑯上枠前の上レール(内側)の角穴に戸車を差し込みながら

①土台前の下レールに⑬後扉下側の切り欠きを合わせ差し込み、
戸車を上レールにのせます。(下記参照図)

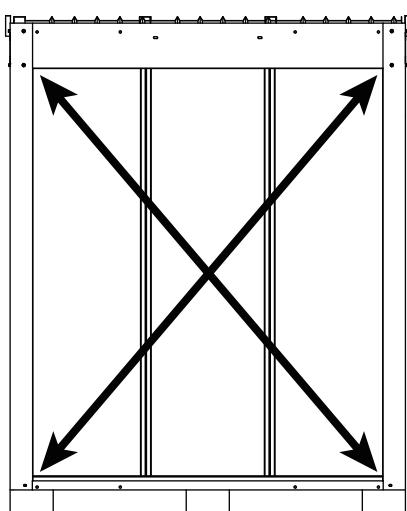


9-④ 後扉の組立

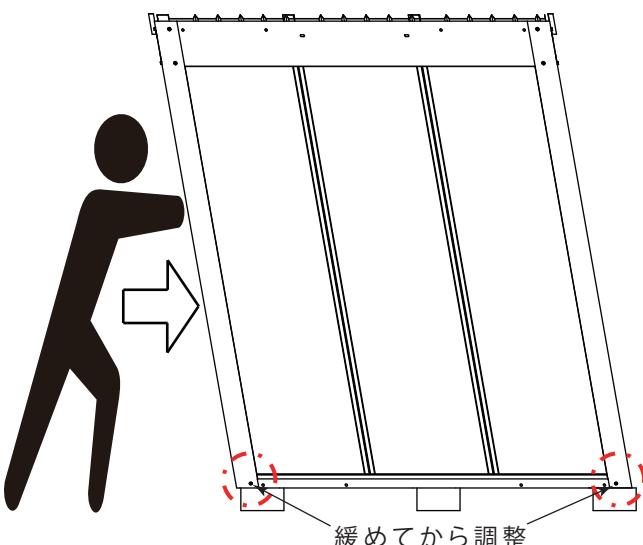
(5) 物置の水平、垂直を確認します。

○ 調整方法1

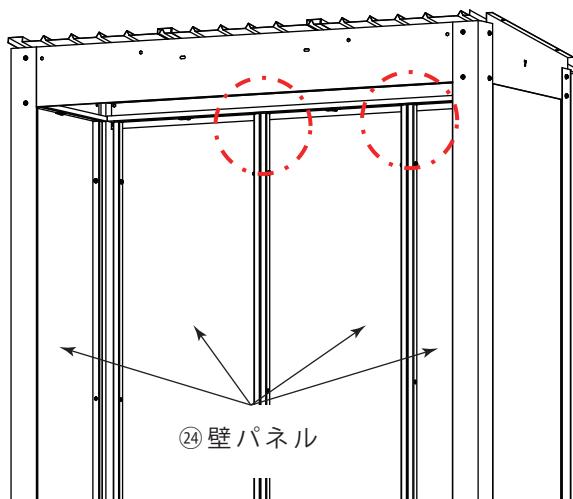
- ①下図を参考に、
鋼板開口部の対角を
計測してください。



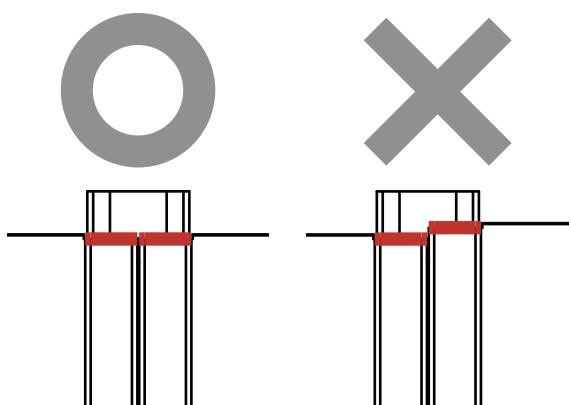
- ②対角寸法が均等でない場合、
鋼板本体が平行四辺形に歪んでいるため
前柱と後柱の8箇所のボルトを緩めてから
下図のように歪みを修正してください。



○ 調整方法2



全ての②4壁パネル同士の上側を合わせます。



(6) 上記の調整を行った状態で、P.8 から P.12までの仮締めしていたねじを全て締めこみます。

9-⑤ 後扉の組立

(7) ③⁷戸車金具に高さ調整ボルト、スプリングワッシャー付きナットを取付けます。

必要に応じて高さ調整ボルトで③⁶後扉の高さを調整します。

※高さ調整ボルトは③⁷戸車金具に向かって締めてください。

※スプリングワッシャー付きナットは高さ調整ボルトの緩み止めです。

※高さ調整後、座金組込ボルトをしっかりと締めてください。

□ 扉の高さ調整

※扉の高さを調整する際には、

③⁷戸車金具の座金組込ボルトを緩めてから

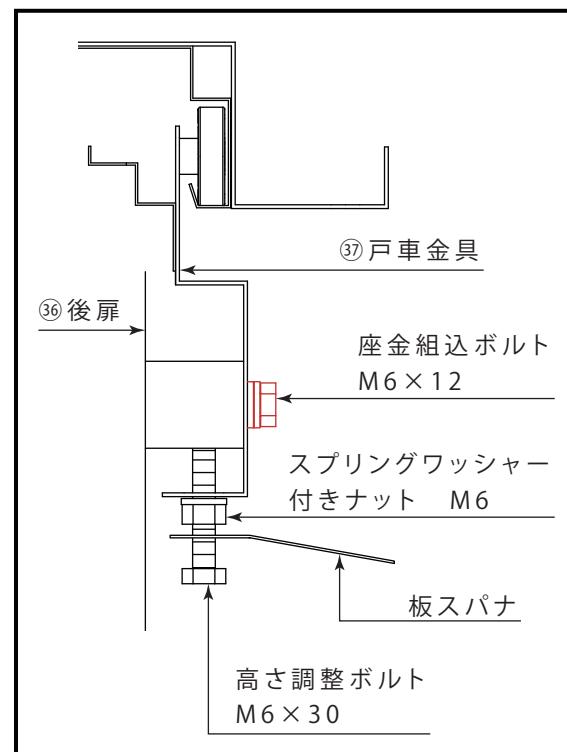
行なってください。(下記参照図)

座金組込ボルトを緩めないで高さ調整を行なうと

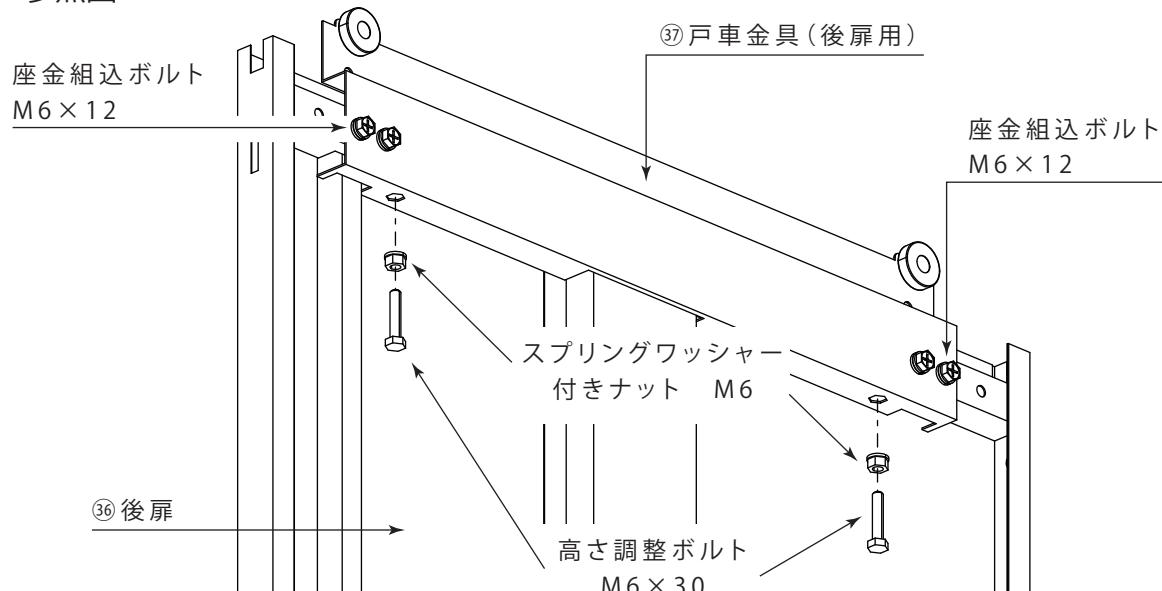
③⁷戸車金具が変形します。

スプリングワッシャー付きナットは高さ調整が

完了してから締め込みます。



○ 参照図



※図は右開きの場合

施工手順 (単位:mm)

10-① 前扉の組立

(1) ③⁸前扉の下側に扉振れ止めと⑤⁹前扉框水切りを取り付けます。(下記参照図)

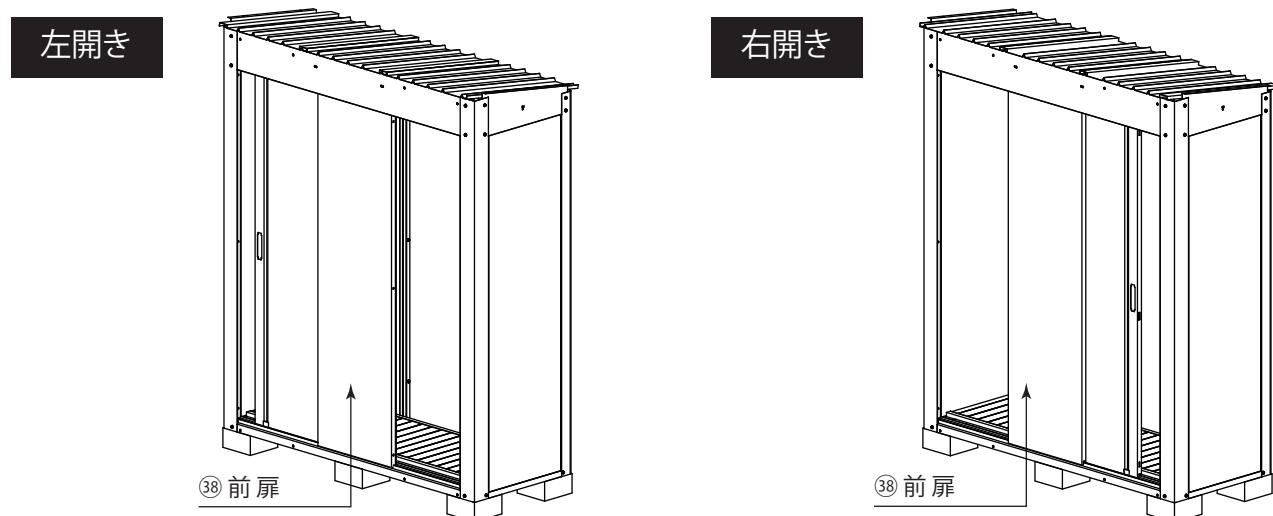
(2) ③⁸前扉の上側に⑨戸車金具(前扉用)を取付けます。

(3) ③⁸前扉の上端に連動金具を取付けます。
※左開き、右開きでは連動金具の取付位置が異なるのでご注意ください。

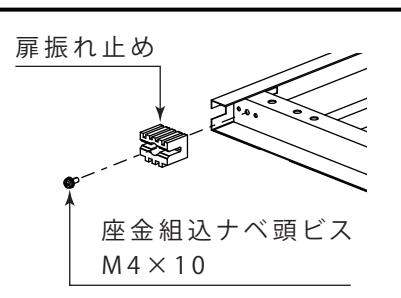
使用部品

番号	部品名称	数量
③⁸	前扉	1
⑨	戸車金具(前扉用)	1
⑤⁹	前扉框水切り	1

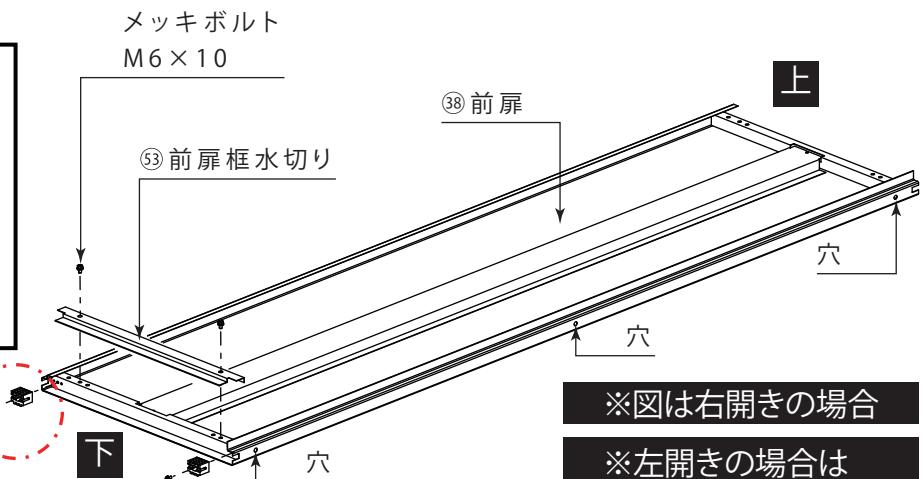
部品箱	扉振れ止め	2
	連動金具	1
	メッキボルト M6×10	2
	座金組込ナベ頭ビスM4×10	2
	座金組込ボルト(扉用) M6×12	5
	高さ調整ボルト M6×30	2
	スプリングワッシャー付きナット M6	2



○ 参照図



本締め

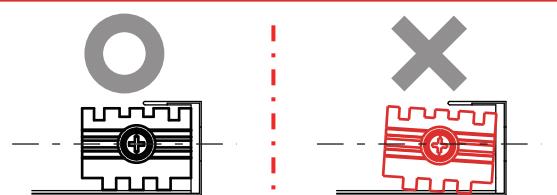


※前扉の上下方向は、側面の穴が開いている向きを確認

※扉振れ止めは、扉に対して平行に取付けてください。

斜めに取り付くと、下レールに干渉して

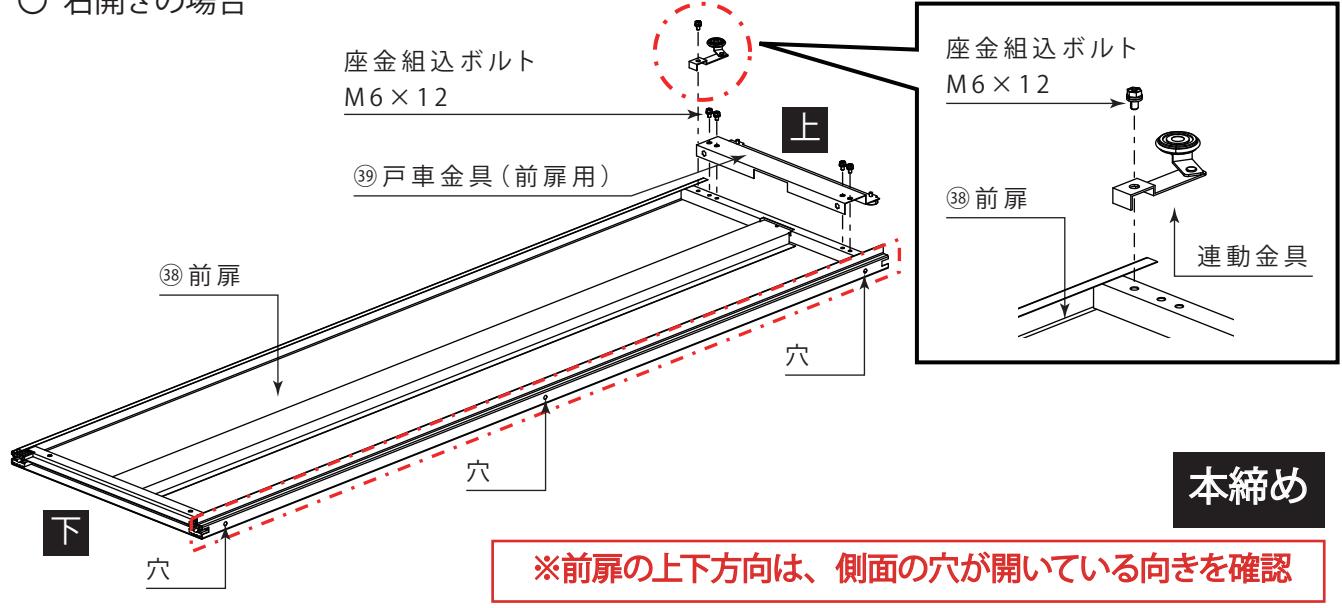
扉の動作が重くなります。



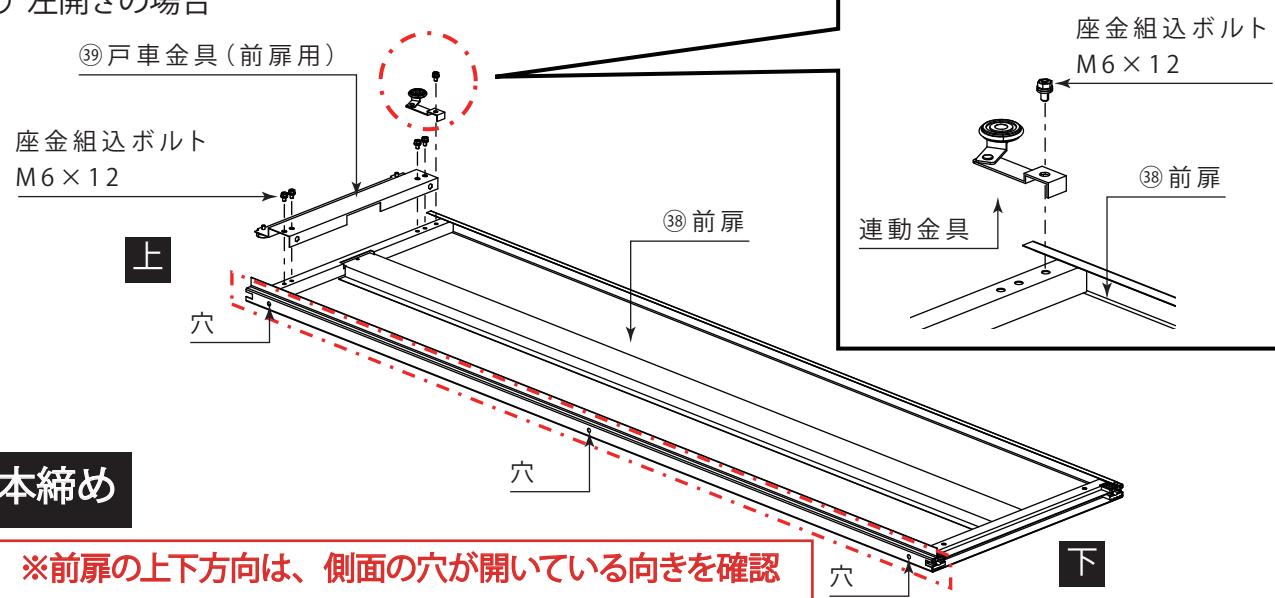
施工手順 (単位:mm)

10-② 前扉の組立

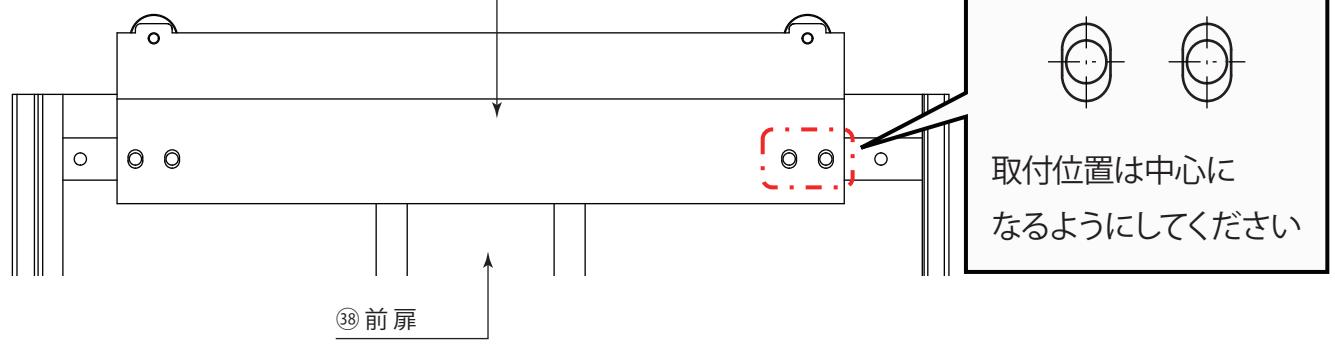
○ 右開きの場合



○ 左開きの場合



③9 戸車金具(前扉用)



10-③ 前扉の組立

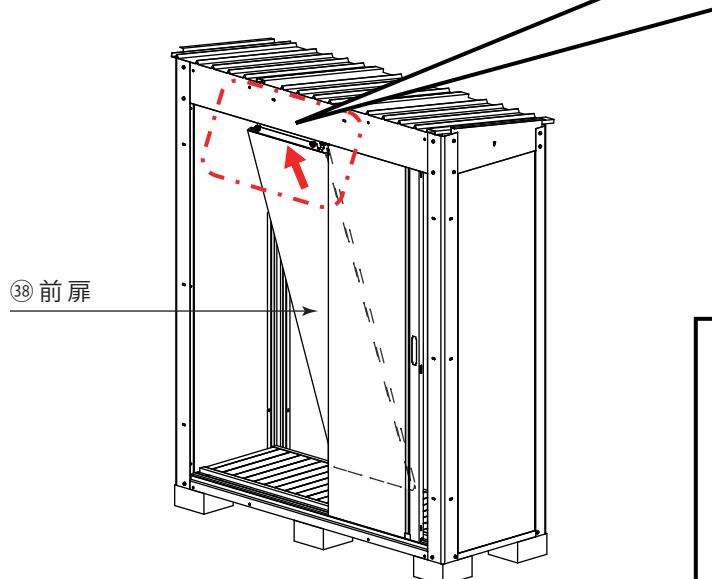
(3) ⑬前扉を本体に取付けます。

※物置庫内から、⑯上枠前の上レール（外側）の角穴に戸車を差し込みながら

①土台前の下レールに⑬前扉下側の切り欠きを合わせ差し込み、

戸車を上レールにのせます。（下記参照図）

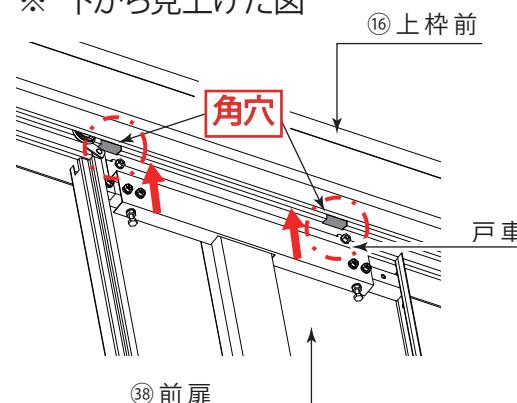
(4) ④扉ガイドの上に連動金具のコマが乗るように
セットして、扉を移動させてください。



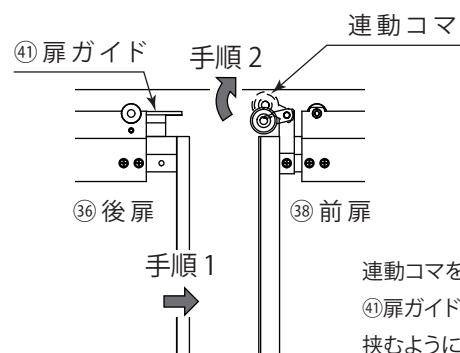
※図は右開きの場合

※ 物置庫内から見た図

※ 下から見上げた図

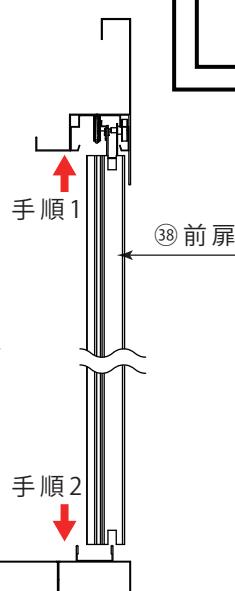
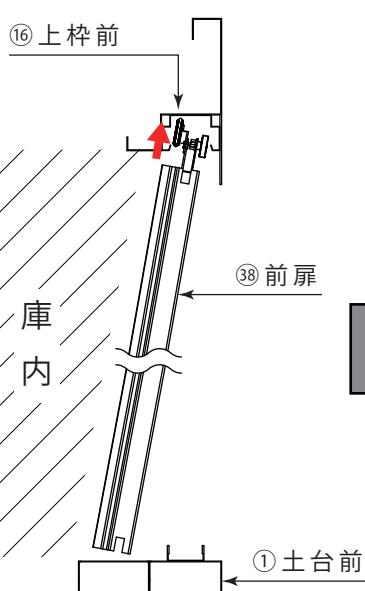


※ 物置庫内から見た図

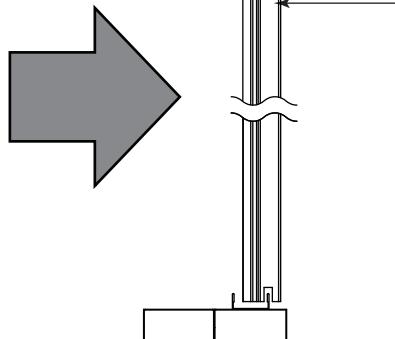


連動コマを⑯上枠前と
④扉ガイドとの間に
挟むようにセットします

○ 参照図



※④扉ガイドの上に連動金具のコマが
乗るようにセットしてください。



10-④ 前扉の組立

(4) ③⁹戸車金具に高さ調整ボルト、スプリングワッシャー付きナットを取付けます。

必要に応じて高さ調整ボルトで③⁸前扉の高さを調整します。

※高さ調整ボルトは③⁹戸車金具に向かって締めてください。

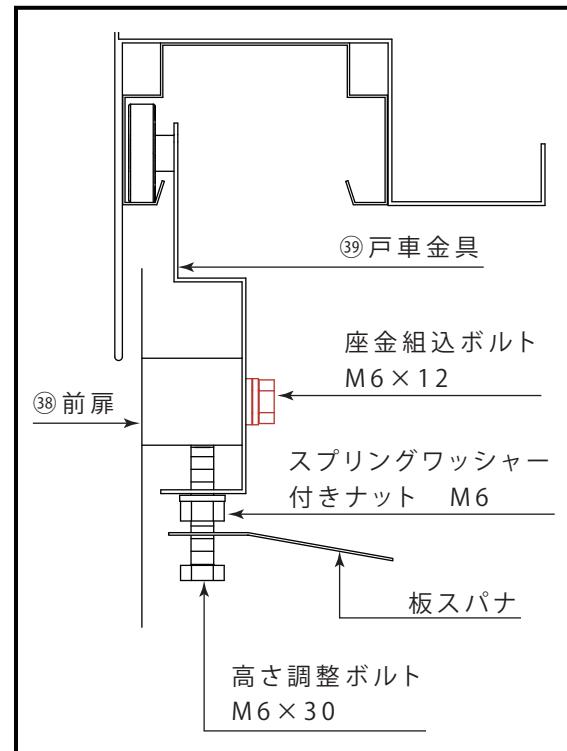
※スプリングワッシャー付きナットは高さ調整ボルトの緩み止めです。

※高さ調整後、座金組込ボルトをしっかりと締めてください。

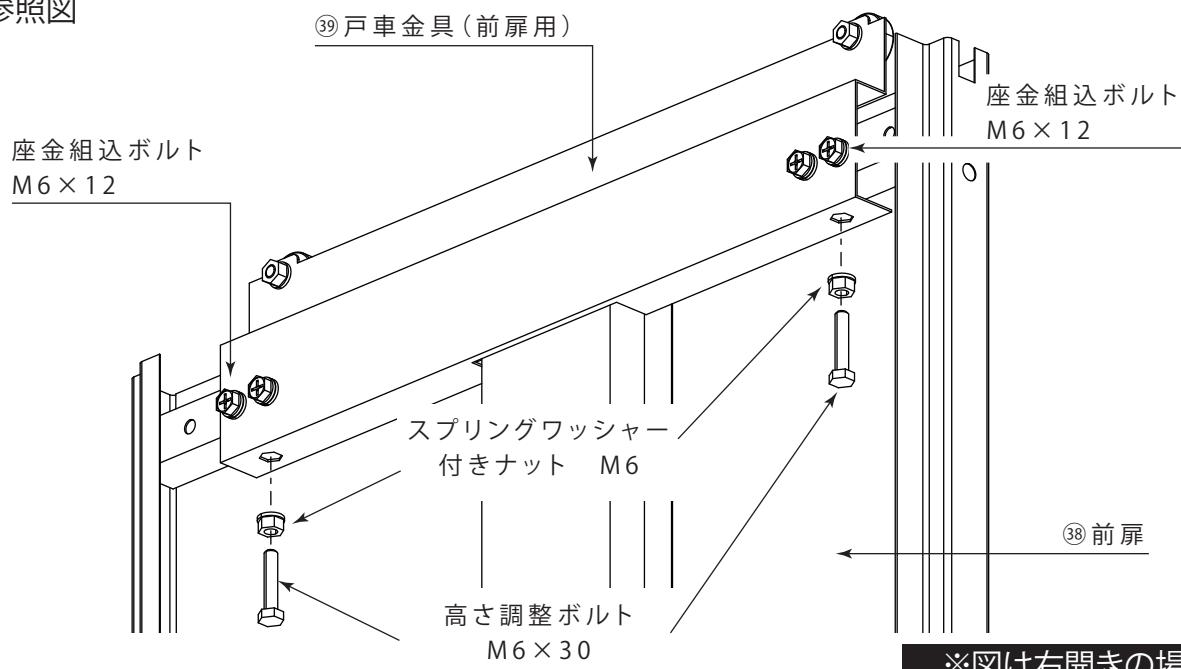
□ 扉の高さ調整

※扉の高さを調整する際には、

③⁹戸車金具の座金組込ボルトを緩めてから
行なってください。(下記参照図)
座金組込ボルトを緩めないと高さ調整を行なうと
③⁹戸車金具が変形します。
スプリングワッシャー付きナットは高さ調整が
完了してから締め込みます。



○ 参照図



施工手順 (単位:mm)

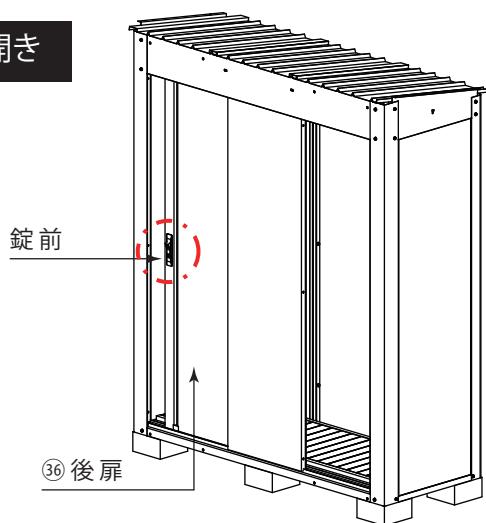
11 錠前の組立

(1) ⑬後扉に錠前を取り付けます。

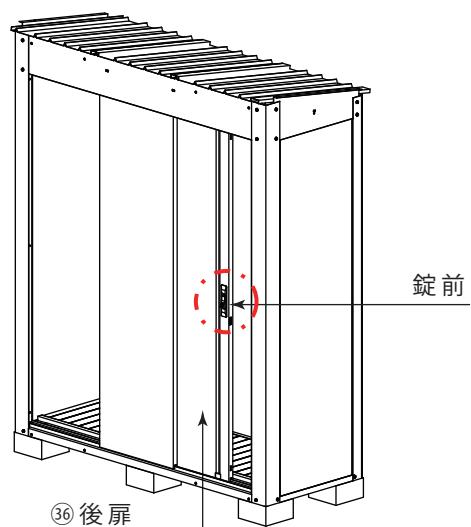
使用部品

番号	部品名称	数量
部品箱	錠前	1
	トラスタッピングねじ $\phi 4 \times 6$	4

左開き



右開き

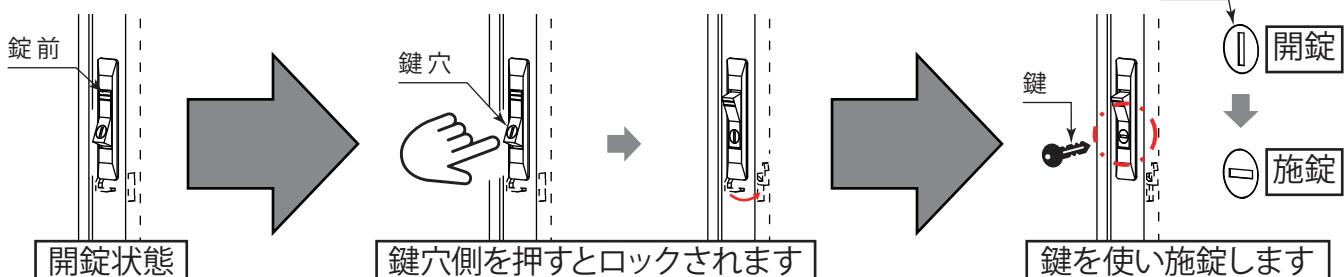


錠前
⑬後扉
錠前カバー
トラスタッピングねじ
 $\phi 4 \times 6$
※締め過ぎ注意

⑬後扉
錠前カバー
錠前
トラスタッピングねじ
 $\phi 4 \times 6$
※締め過ぎ注意

※左開き、右開きによって錠前の上下の向きが異なりますのでご注意ください

○ 錠前の操作方法 (図は右開きの場合)



施工手順 (単位:mm)

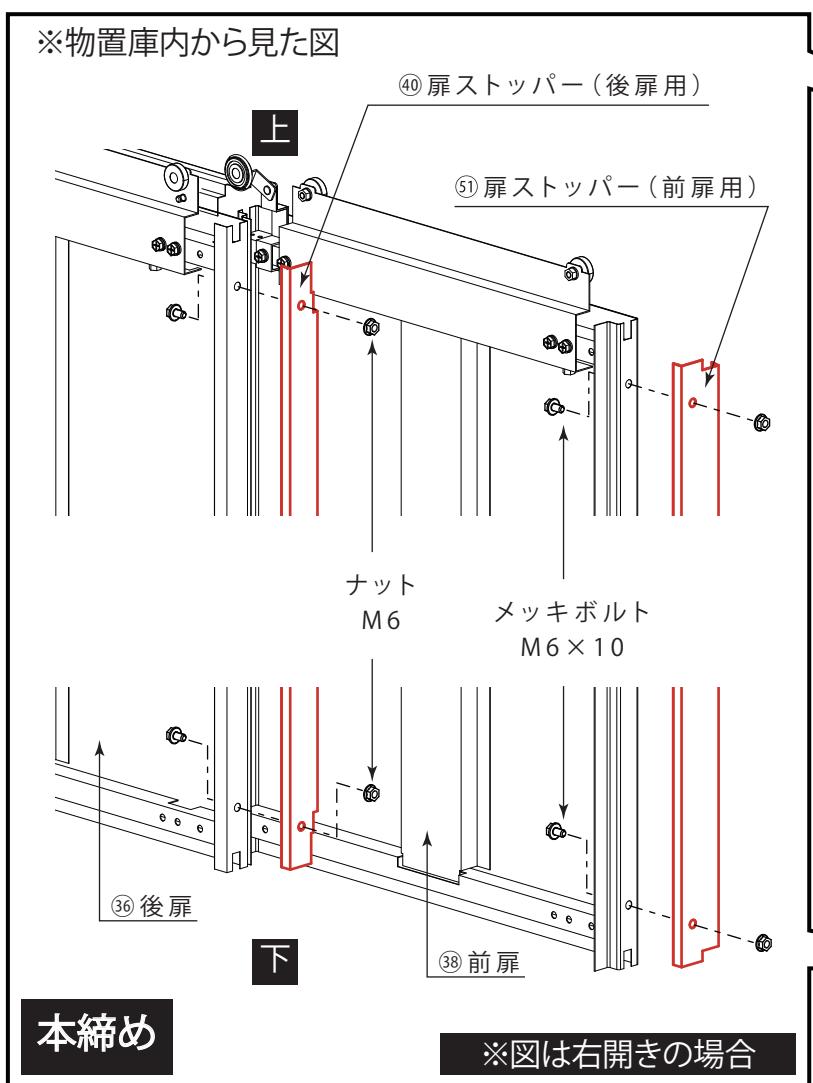
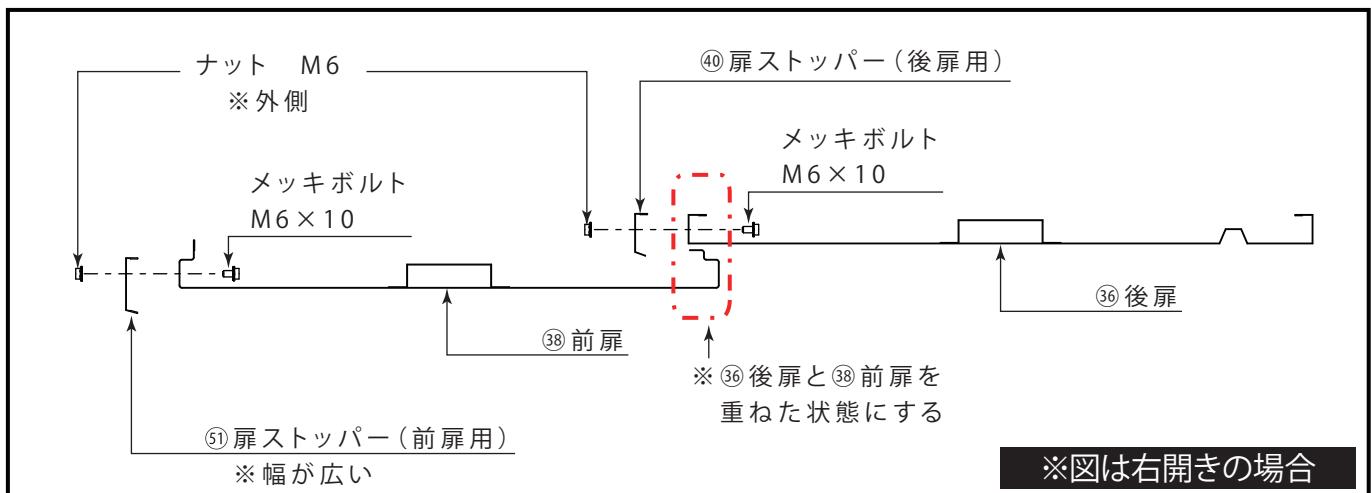
12 扉ストップバーの組立

- (1) ④⓪扉ストップバー（後扉用）を③⑥後扉に、
 ⑤①扉ストップバー（前扉用）を③⑧前扉に
 それぞれ取付けます。

※扉ストップバーには向きがありますのでご注意ください。

使用部品

番号	部品名称	数量
④⓪	扉ストップバー（後扉用）	1
⑤①	扉ストップバー（前扉用）	1
部品箱	メッキボルト M6×10	6
部品箱	ナット M6	6



施工手順 (単位:mm)

13 妻板の組立

(1) ②⁹妻板 左を⑯上枠横 左に取付けます。

使用部品

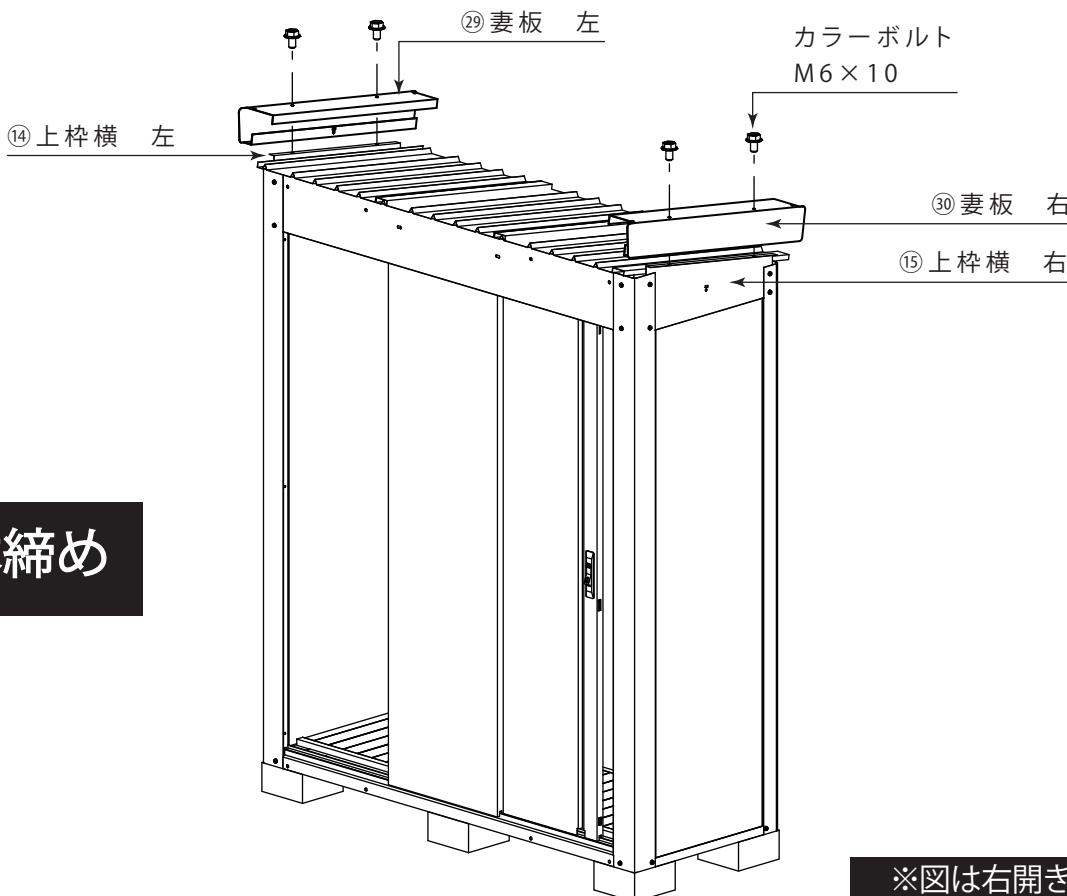
番号	部品名称	数量
②⁹	妻板 左	1
③⁰	妻板 右	1

(2) ③⁰妻板 右を⑯上枠横 右に取付けます。

部品箱	カラー ボルト M6×10	4
	メッキ ボルト M6×10	2
	板ナット	2

(3) 物置の内側から⑯上枠横 左と②⁹妻板 左を固定します。(下記参照図)

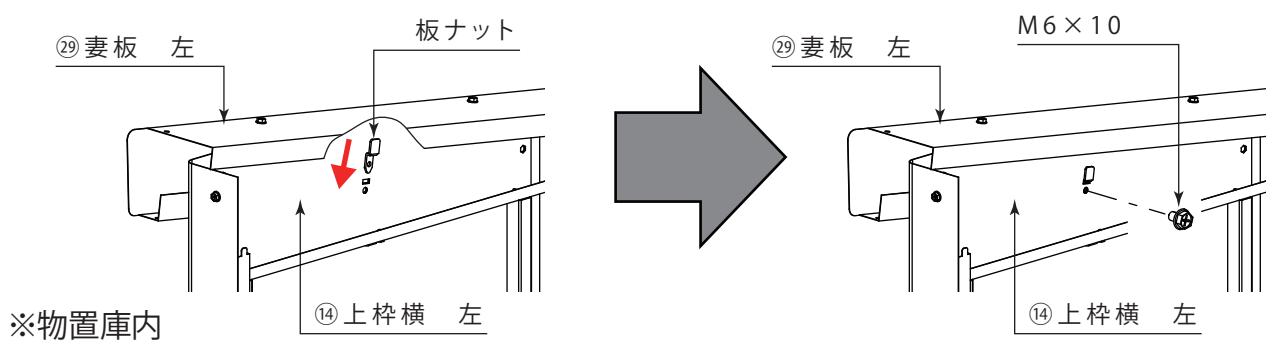
(4) 物置の内側から⑯上枠横 右と③⁰妻板 右を固定します。(下記参照図)



※図は右開きの場合

※高い所での作業は、脚立等を使用して安全に十分注意して作業を行なってください。

○ 参照図



施工手順 (単位:mm)

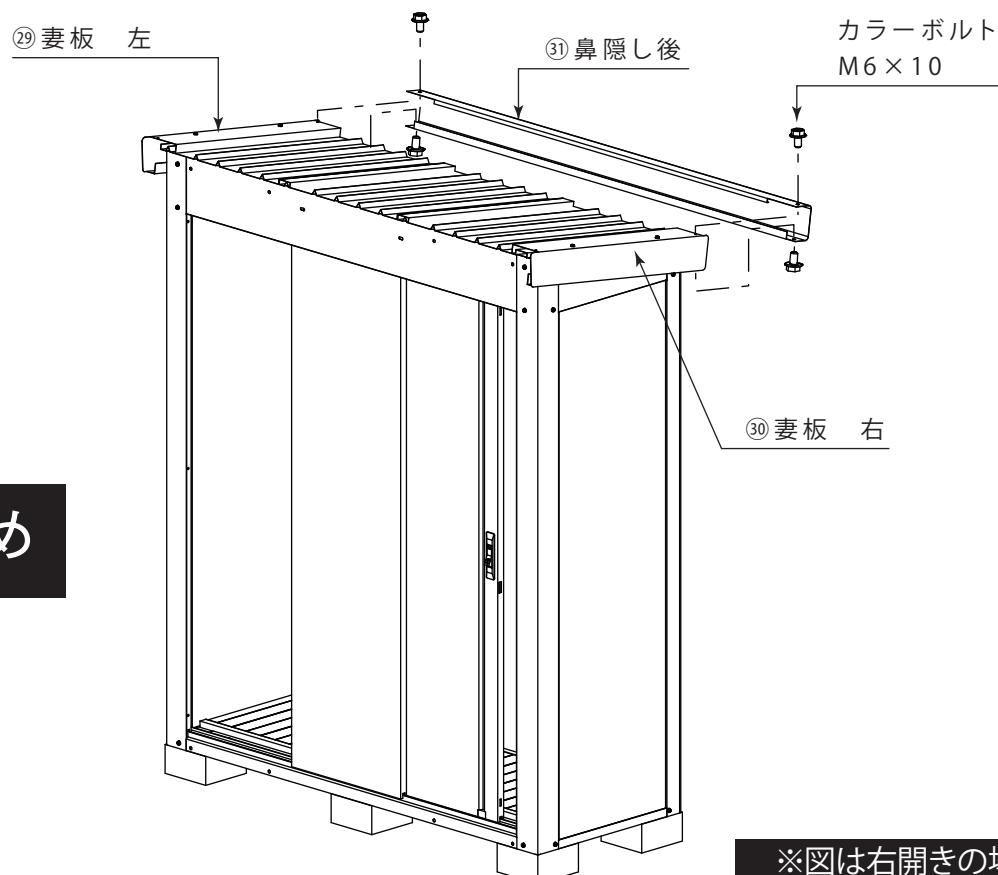
14 鼻隠しの組立

(1) ③1鼻隠し後を②9③0妻板 左 / 右にかぶせるように取付けます。

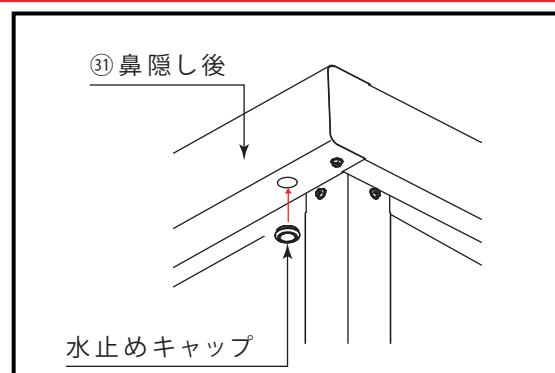
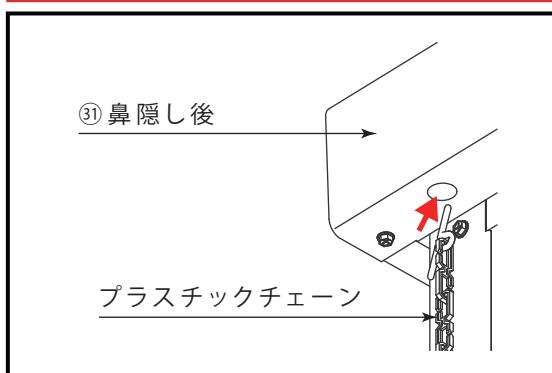
使用部品

番号	部品名称	数量
③1	鼻隠し後	1
部品箱	カラー ボルト M6×10	4
部品箱	水止めキャップ	1
部品箱	プラスチックチェーン	1

(2) ③1鼻隠し後の底面にある水抜き穴にプラスチックチェーンを差し込み、もう一方の水抜き穴に水止めキャップを取付けます。
※雨水を落としたい側にプラスチックチェーンを取付けます。



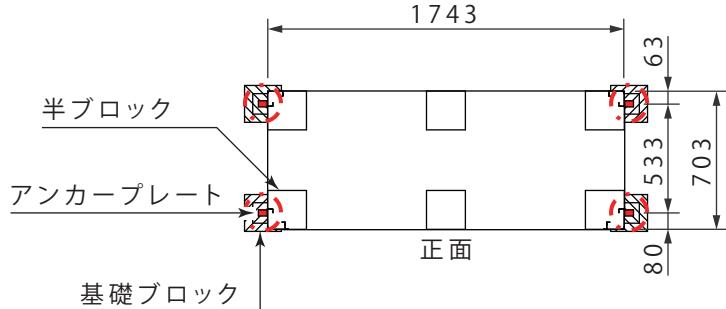
※高い所での作業は、脚立等を使用して安全に十分注意して作業を行なってください。



施工手順 (単位:mm)

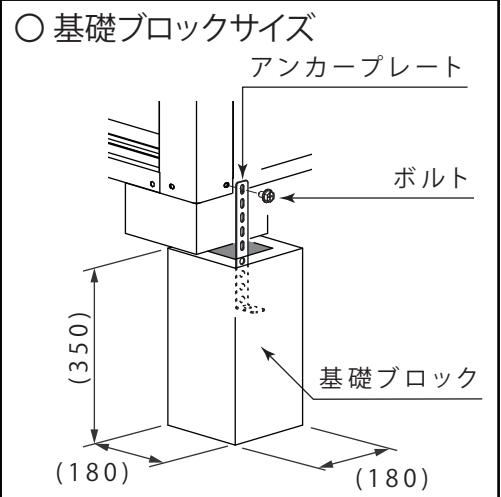
15 アンカープレートの取付け

◇ 設置場所が土、または砂利の場合



使用部品

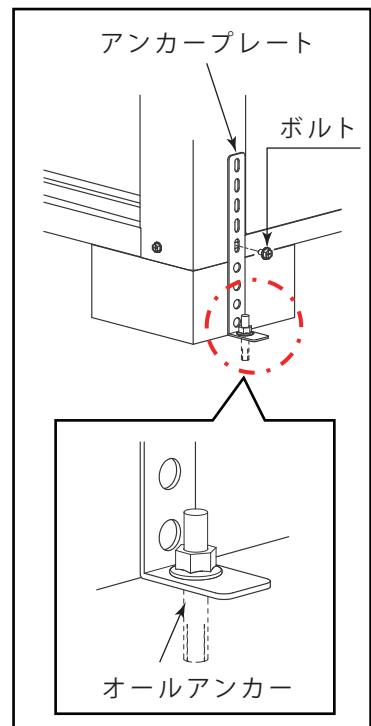
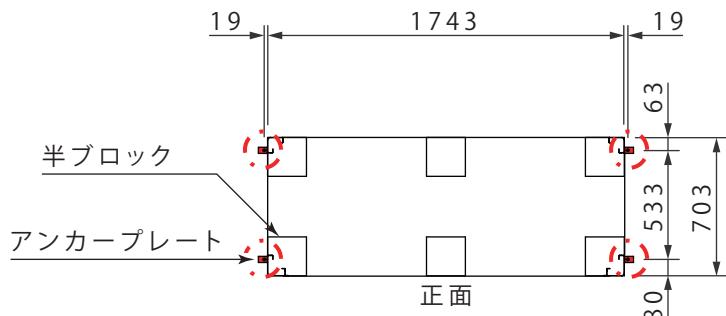
番号	部品名称	数量
部品箱	アンカープレート	4



- (1) 前柱、後柱の側面のボルトを外して、
アンカープレートと一緒に再度取付けます。
- (2) アンカープレート取付け後、事前に埋め込んだ
基礎ブロックの穴にコンクリートを流し込んで固定します。
※4力所すべて施工しないと十分な効果は得られません。

※基礎ブロックの寸法は参考値です。
地盤など設置場所に合わせて
施工してください。

◇ 設置場所がコンクリートの場合

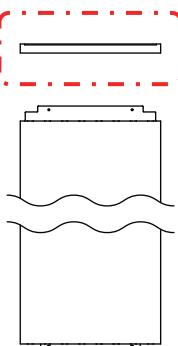


- (1) 前柱、後柱の側面のボルトを外して、
アンカープレートと一緒に再度取付けます。
- (2) 固定する位置のアンカープレートの穴に合わせて下穴をあけます。
- (3) オールアンカー（別壳）を打ち込み固定してください。
※オールアンカーは M10、または M12 を使用してください。
※4力所すべて施工しないと十分な効果は得られません。
※コンクリートの厚さに合わせてアンカーの長さを検討してください。

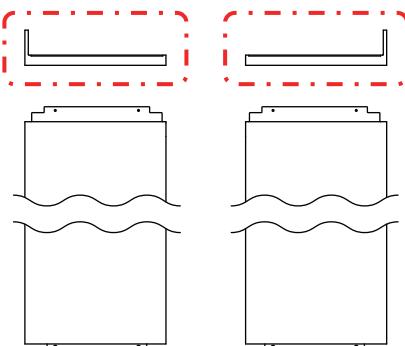
16-① FRP 前パネルの取付

※FRP前パネルは、各ページでそれぞれのタイプの取付方法をご確認ください。

デザインタイプA
→P.27、P.28 を参照



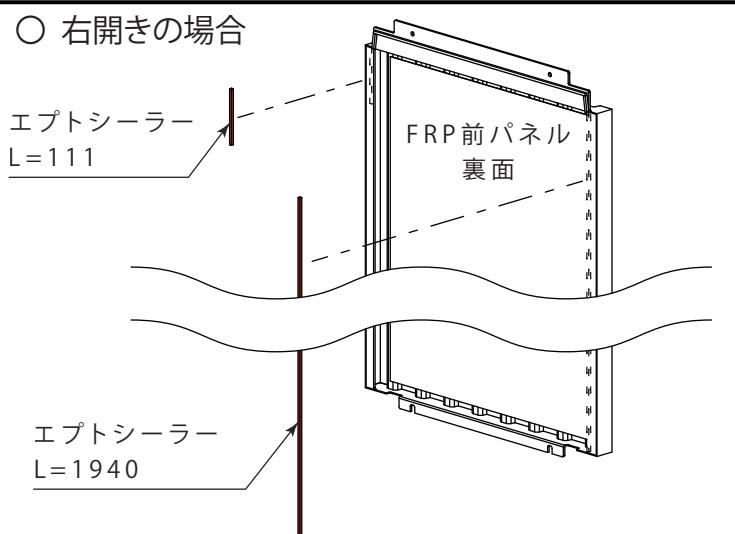
デザインタイプB
→P.29、P.30 を参照



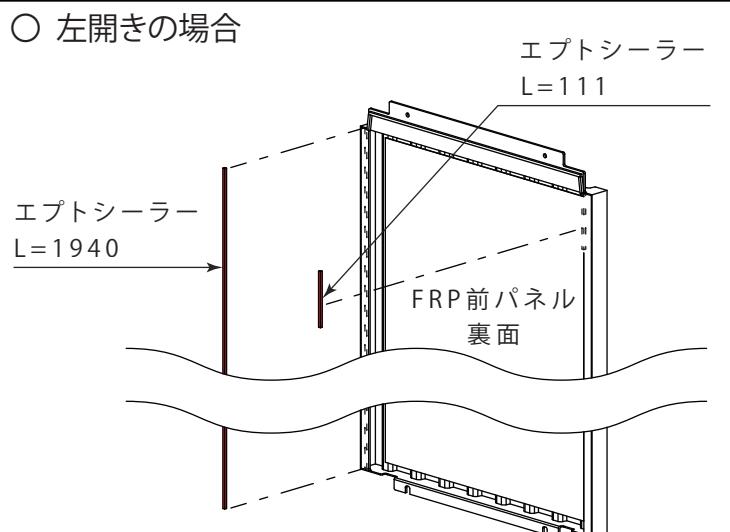
※デザインタイプAの場合 (図はリコシスタ)

- (1) FRP 前パネルの裏面 2箇所にエプトシーラーを貼付けます。

○ 右開きの場合

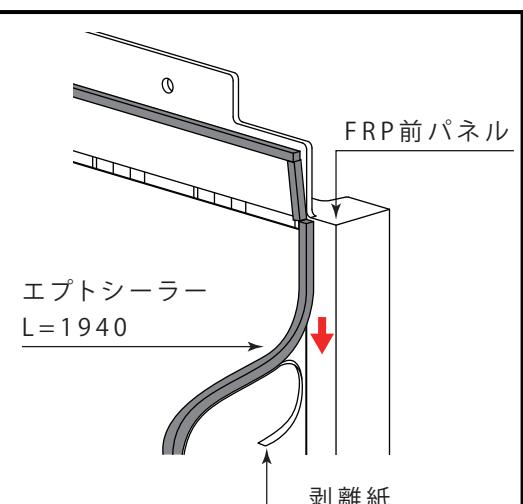


○ 左開きの場合



使用部品

番号	部品名称	数量
	FRP前パネル	1
PDSCK 01	エプトシーラー L=1940	1
	エプトシーラー L=111	1



※エプトシーラーは剥離紙を少しづつ剥がしながら貼るときれいに貼れます

※図は右開きの場合

施工手順 (単位:mm)

16-② FRP 前パネルの取付

※デザインタイプAの場合 (図はリコシスタ)

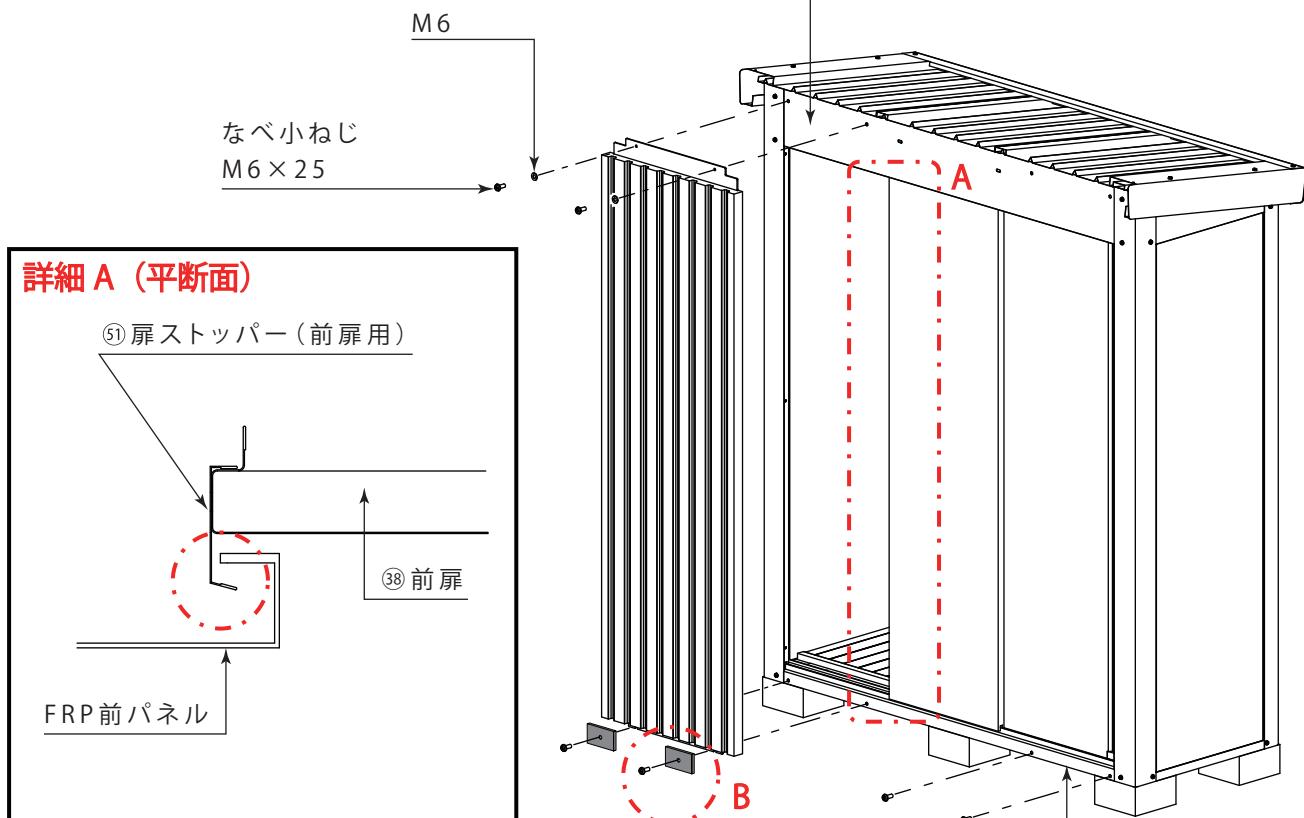
(2) FRP 前パネルを①土台前と⑯上枠前に取付けます。

(3) ①土台前の使用しない穴に、

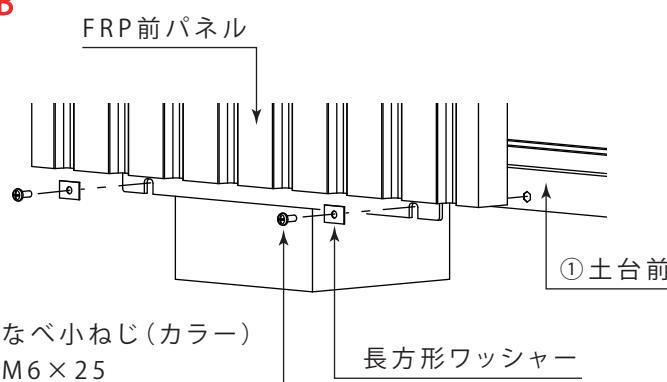
穴隠し用のなべ小ねじ (アイボリー) を取付けます。

使用部品

番号	部品名称	数量
	FRP 前パネル	1
PDSCK 01	なべ小ねじ M6 × 25	2
	ワッシャー M6	2
	なべ小ねじ(カラー) M6 × 25	2
	長方形ワッシャー(カラー)	2
	なべ小ねじ(アイボリー) M6 × 15	2



詳細 B



なべ小ねじ (アイボリー)
M6 × 15

本締め

※図はリコシスタ

※図は右開きの場合

施工手順 (単位:mm)

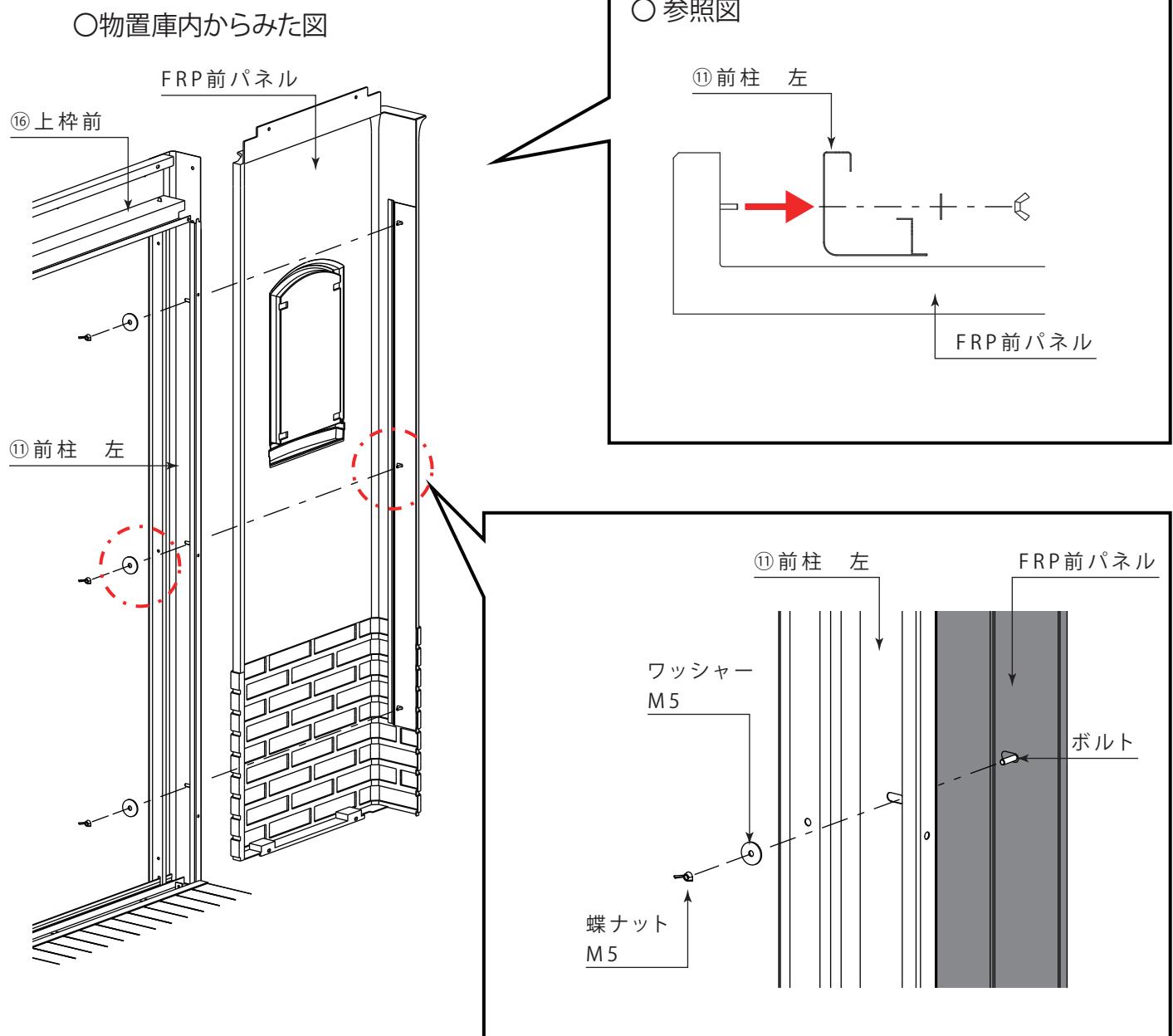
16-③ FRP 前パネルの取付

※デザインタイプBの場合 (図はカンナシスタ)

使用部品

番号	部品名称	数量
	FRP前パネル	1
PDSCK 03	蝶ナット M5	3
	ワッシャー M5	3

- (1) 右開きの場合、⑪前柱 左の側面の長穴に
FRP前パネル裏面のボルトを差し込み、庫内から蝶ナット等で取付けます。



本締め

※図はリコシスタ

※図は右開きの場合

施工手順 (単位:mm)

16-④ FRP 前パネルの取付

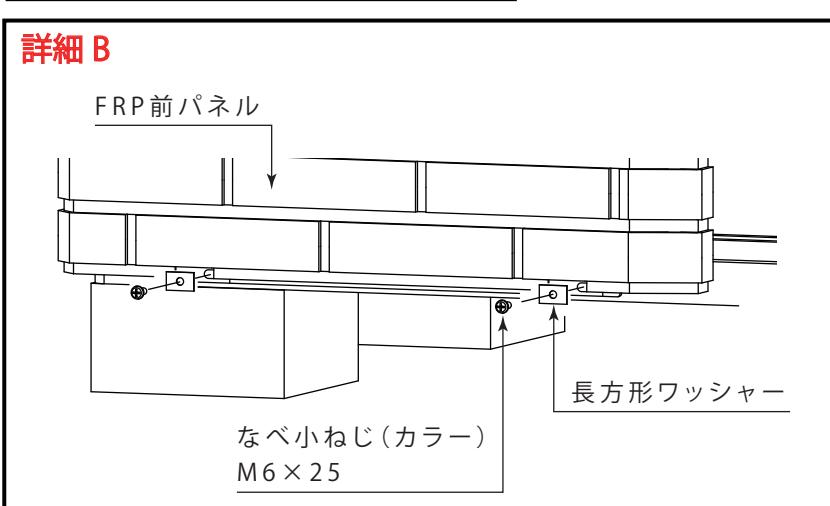
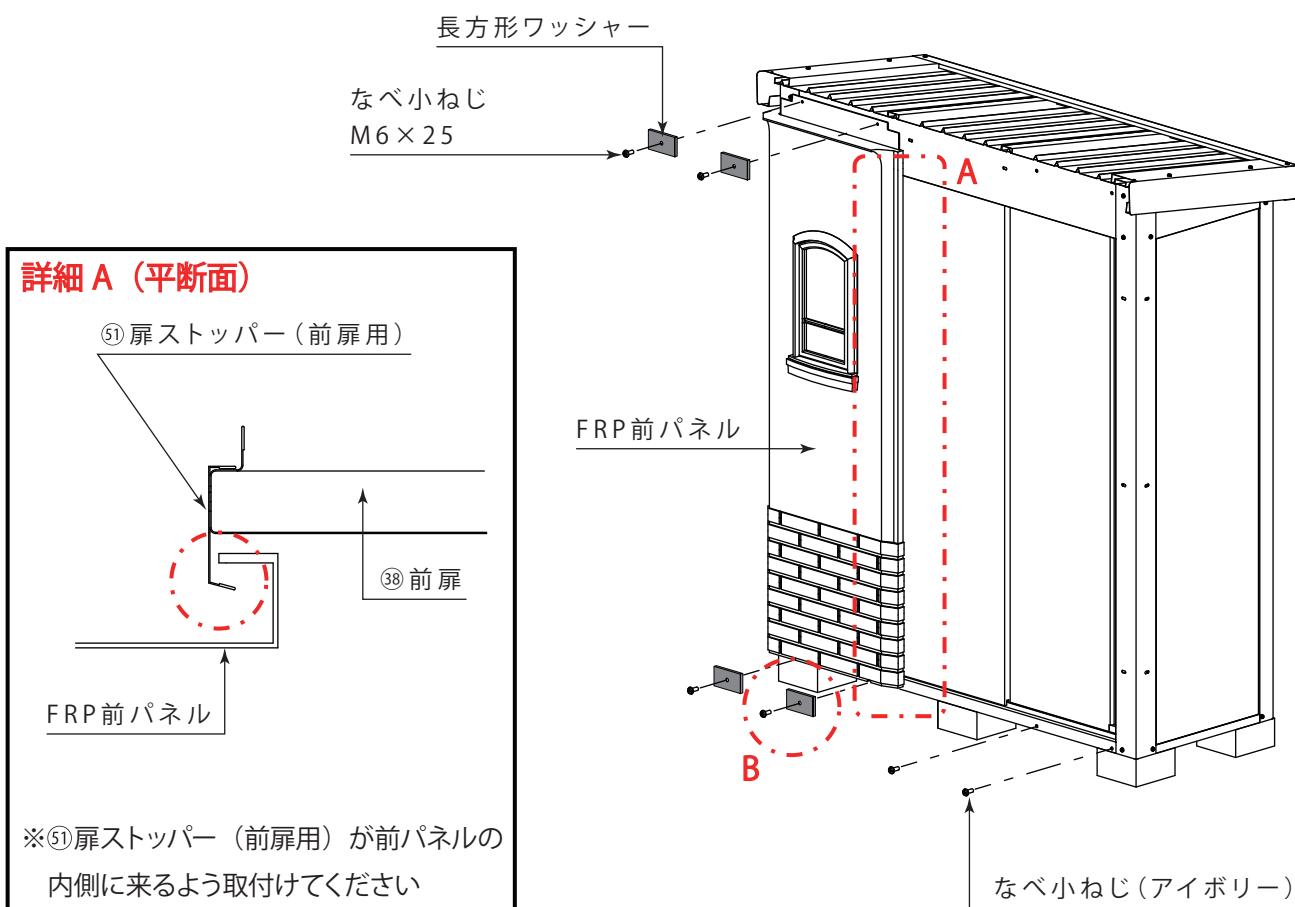
※デザインタイプBの場合 (図はカンナシスタ)

(2) 前パネルを①土台前と⑯上枠前に取付けます。

(3) ①土台前の使用しない穴に、
穴隠し用のなべ小ねじ (アイボリー) を取付けます。

使用部品

番号	部品名称	数量
	FRP前パネル	1
PDSC-K 03	なべ小ねじ M6×25	2
	なべ小ねじ(カラー) M6×25	2
	長方形ワッシャー(カラー)	4
	なべ小ねじ(アイボリー) M6×15	2



本締め

※図はカンナシスタ

※図は右開きの場合

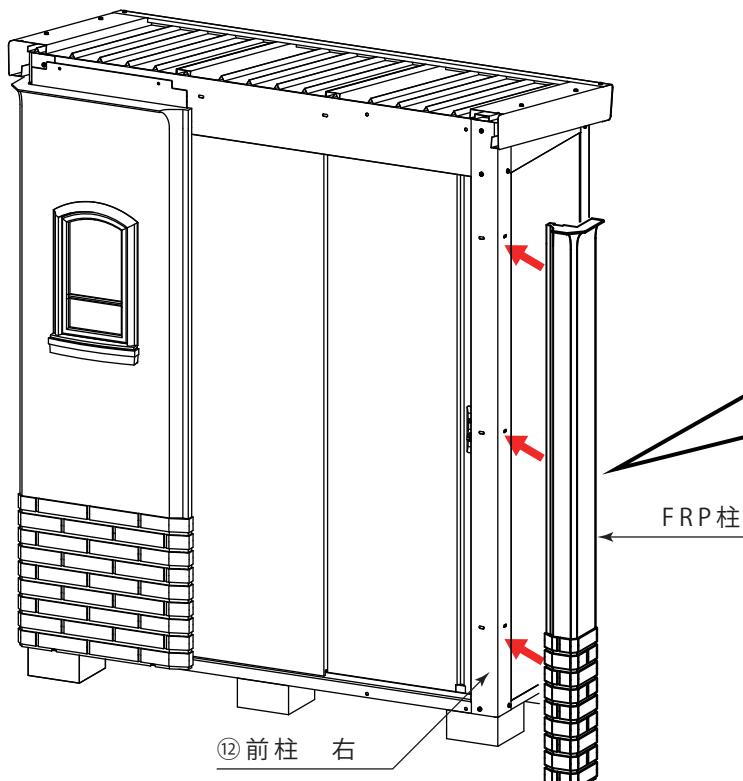
施工手順 (単位:mm)

17 FRP 柱の取付

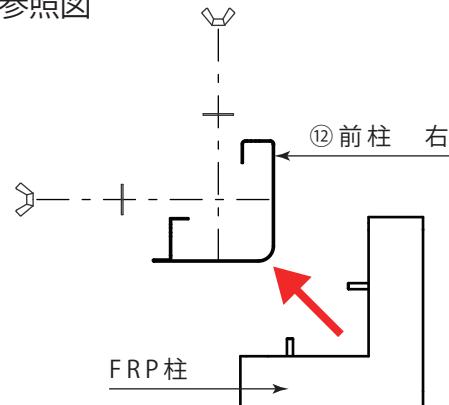
(1) 右開きの場合、⑫前柱 右の正面と側面の長穴にFRP 柱裏面の全てのボルトを差し込み、庫内から蝶ナット等で取付けます。

使用部品

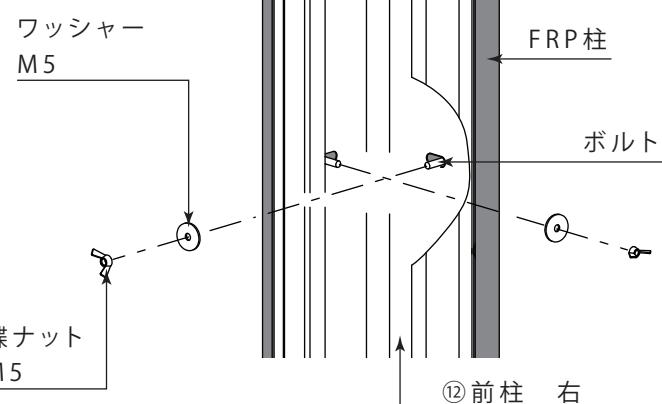
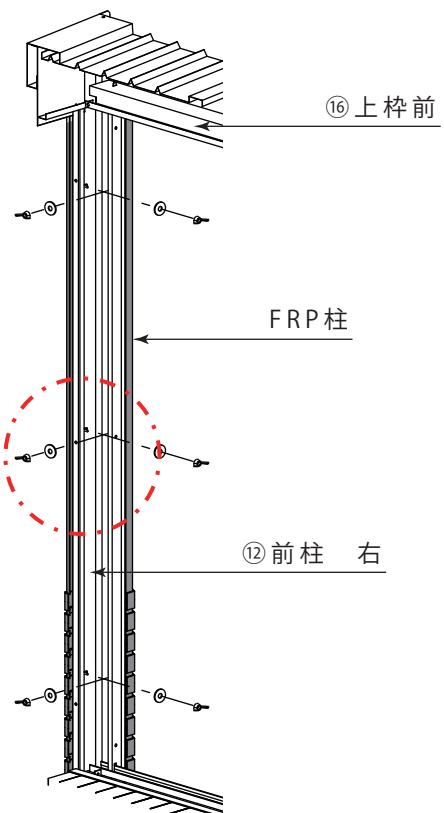
番号	部品名称	数量
	FRP 柱	1
PDSCK 04	蝶ナット M5	6
	ワッシャー M5	6



○参照図



○物置庫内より



本締め

※図はカンナシタ

※図は右開きの場合

施工手順 (単位:mm)

18 FRP軒の取付

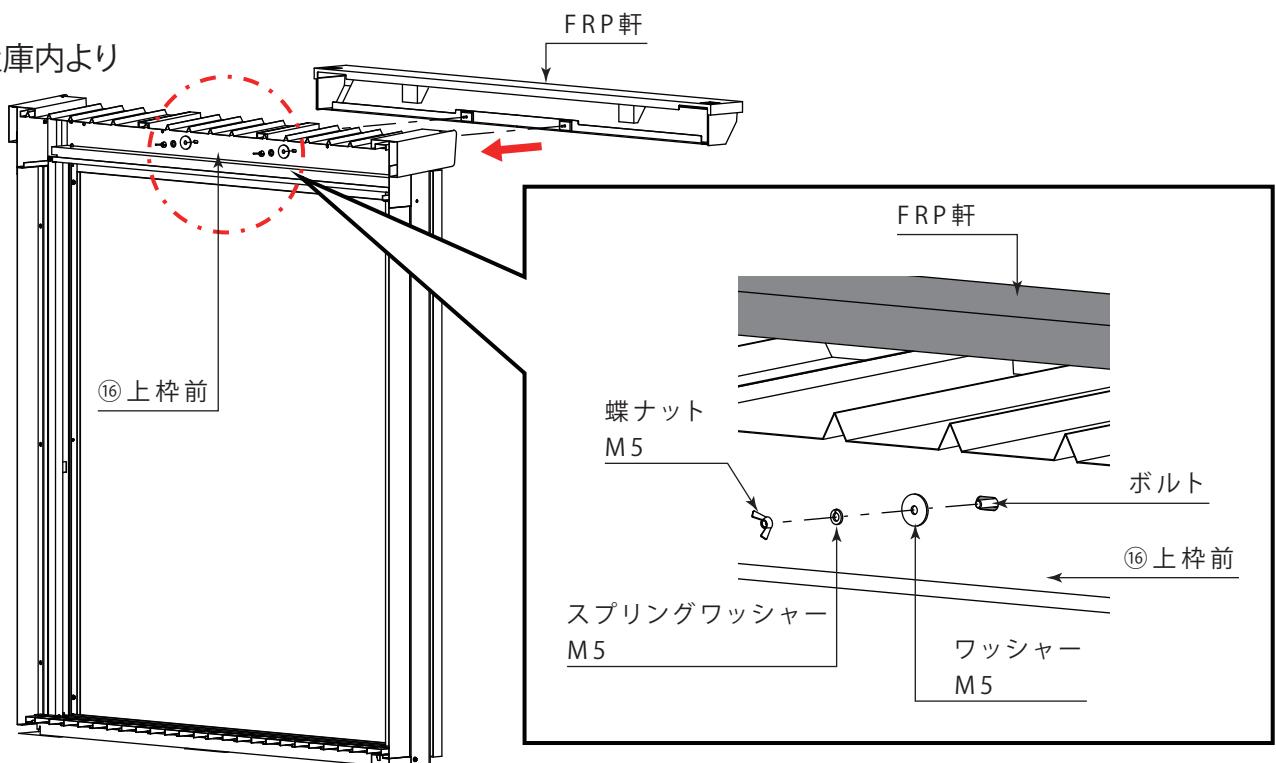
(1) ⑯上枠前の長穴にFRP軒裏面のボルト2本を差し込み、庫内から蝶ナット等で取付けます。

(2) FRP軒上面の左右の長穴から、㉙妻板 左と
㉚妻板 右の穴に取付けます。

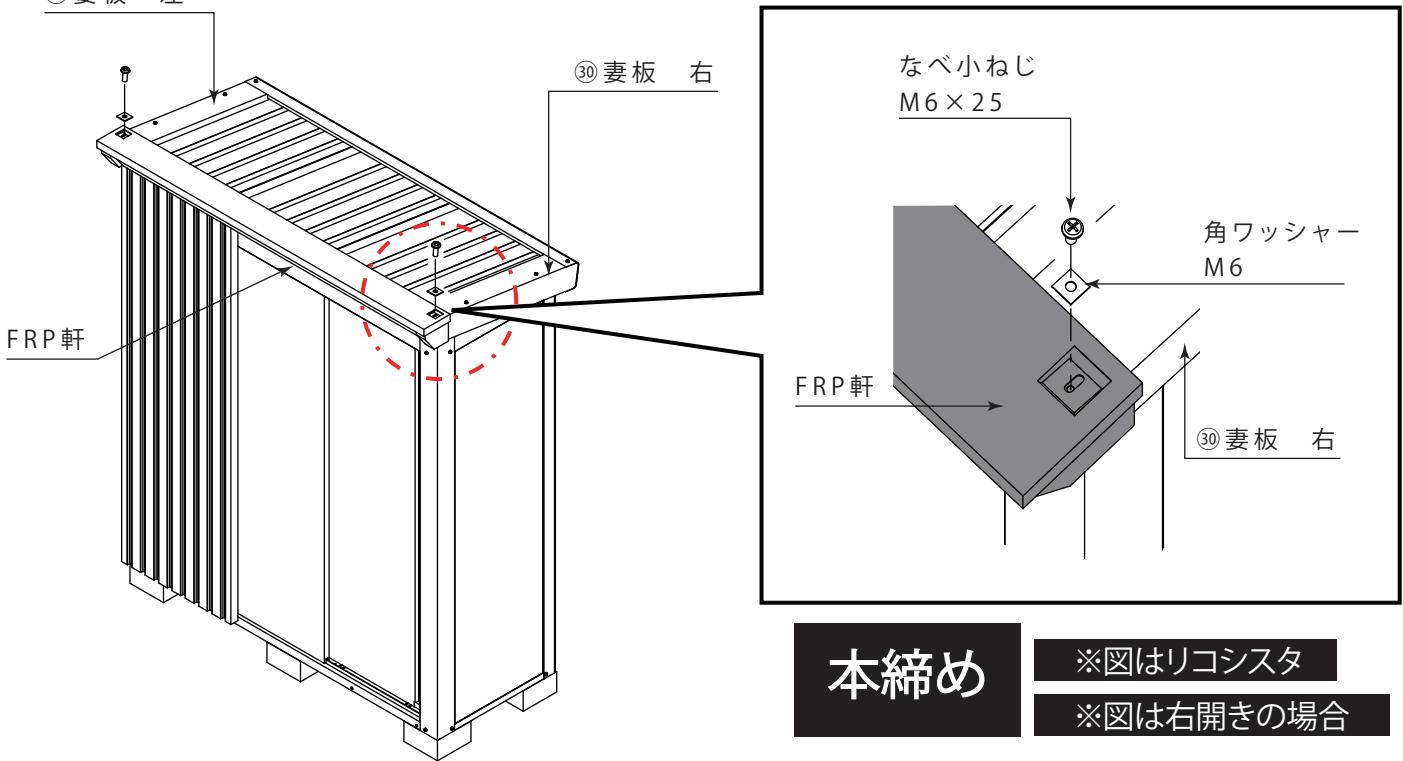
使用部品

番号	部品名称	数量
	FRP軒	1
PDSCK 02	なべ小ねじ M6×25	2
	角ワッシャー M6	2
	蝶ナット M5	2
	ワッシャー M5	2
	スプリングワッシャー M5	2

○物置庫内より



㉙妻板 左



本締め

※図はリコシスタ

※図は右開きの場合

施工手順 (単位:mm)

19-① 柱補強の組立

(1) 前柱補強固定金具を②パネル固定に取付けます。

(2) 右開きの場合、㉖前柱補強 左を㉑前柱 左、
㉖前柱補強 右と㉗前柱補強 右と㉞水切りを重ねて、㉒前柱 右、
㉖上枠前、前柱補強固定金具に取付けます。

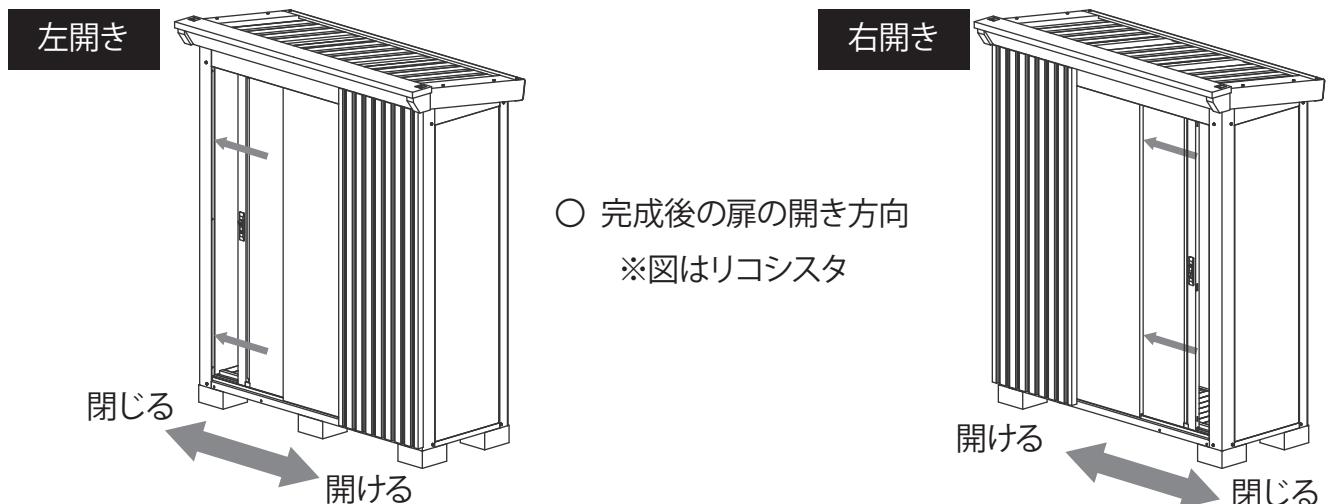
(下図・次ページ参照)

※左開きの場合についても下図を参照ください。

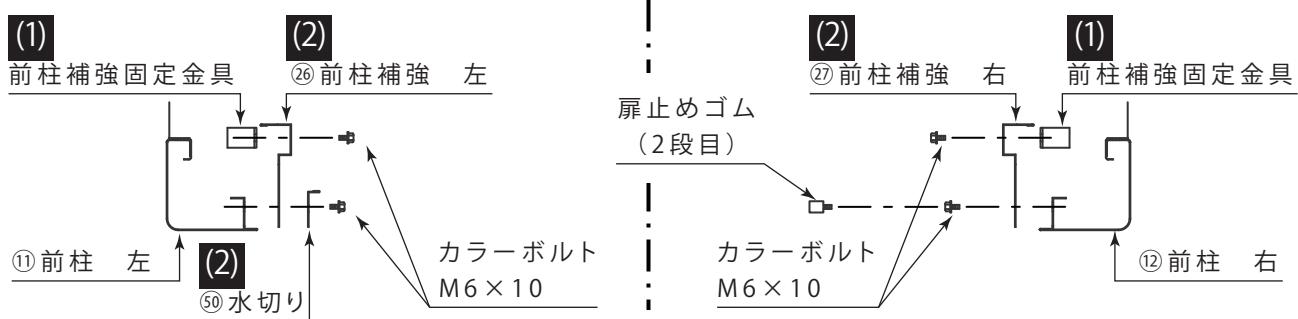
使用部品

番号	部品名称	数量
㉖	前柱補強 左	1
㉗	前柱補強 右	1
㉞	水切り	1

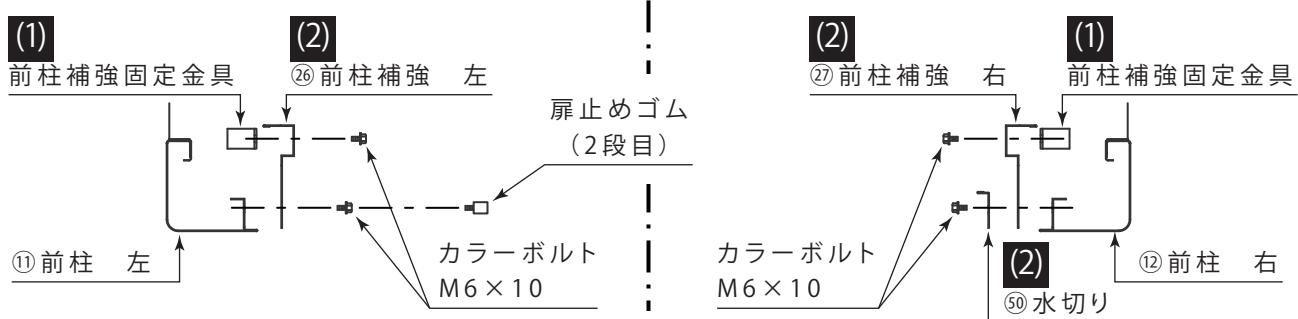
部品箱	前柱補強固定金具	2
	メッキボルト M6×10	2
	カラー ボルト M6×10	9
	ナット M6	2
	扉止めゴム	1



○ 左開きの場合

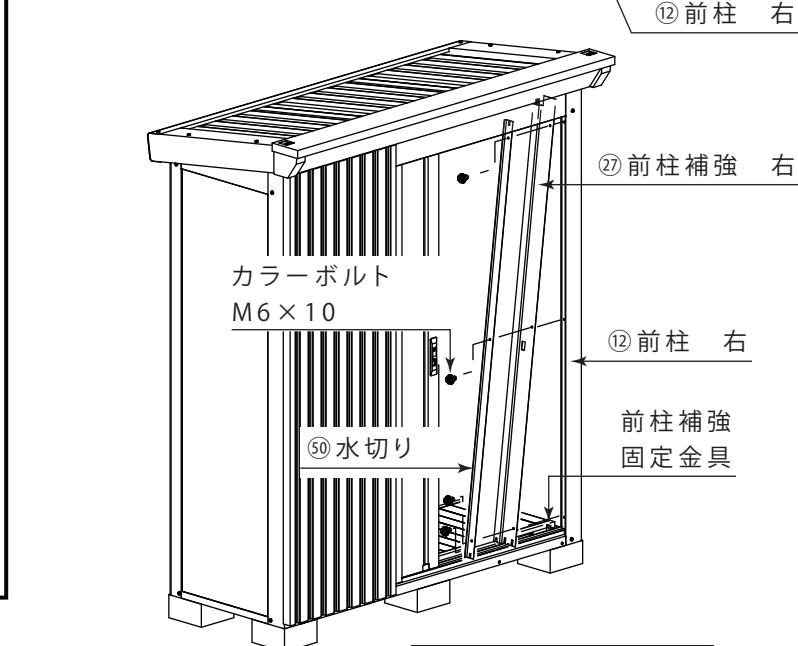
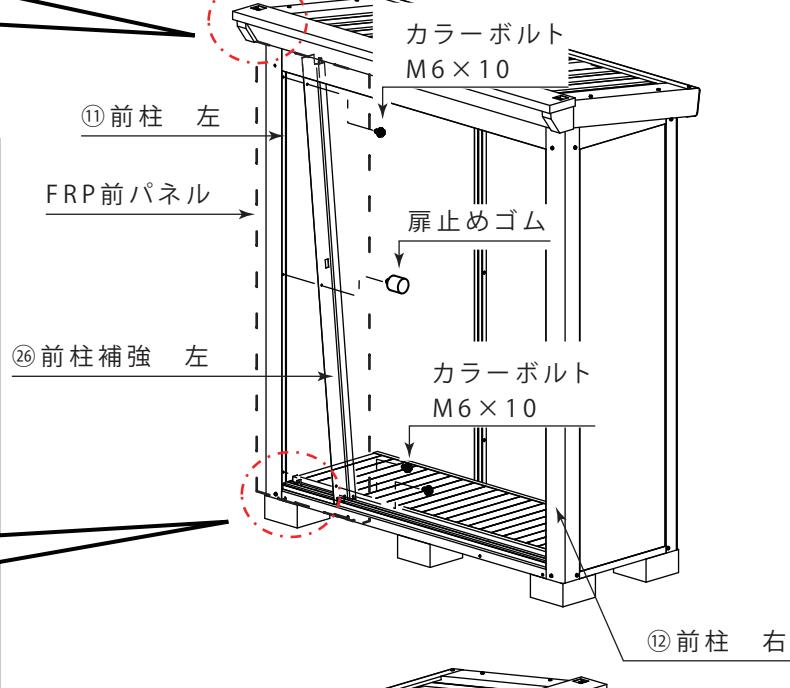
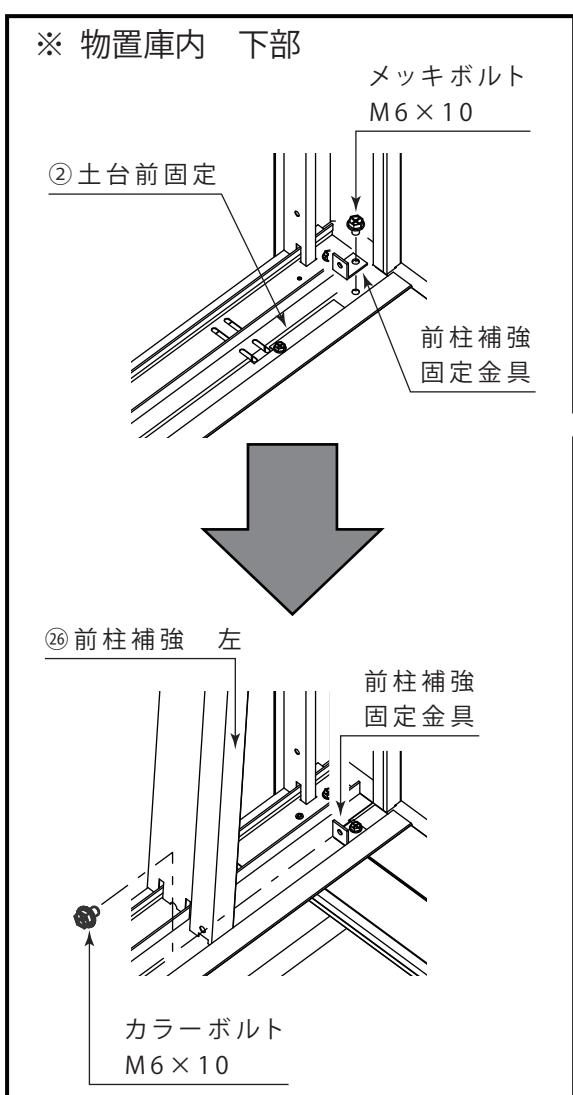
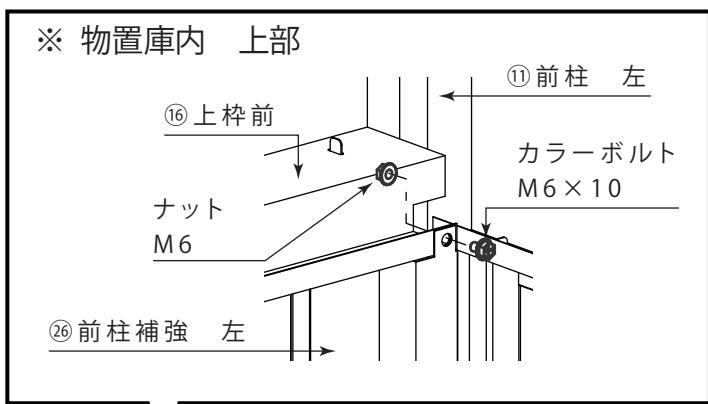
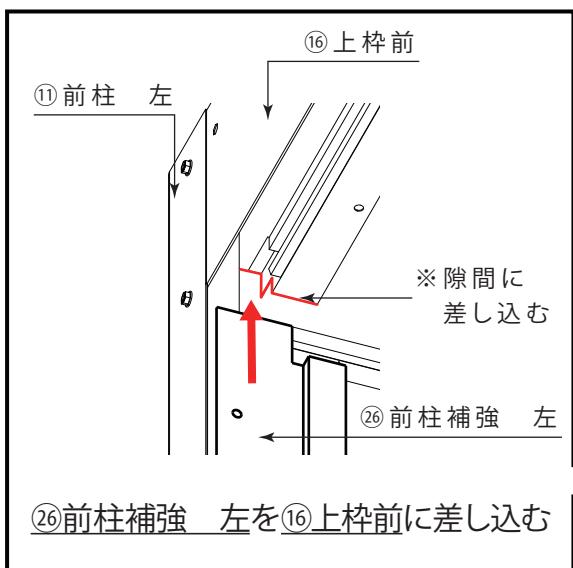


○ 右開きの場合



施工手順 (単位:mm)

19-② 柱補強の組立



本締め

※図はリコシスタ

※図は右開きの場合

施工手順 (単位:mm)

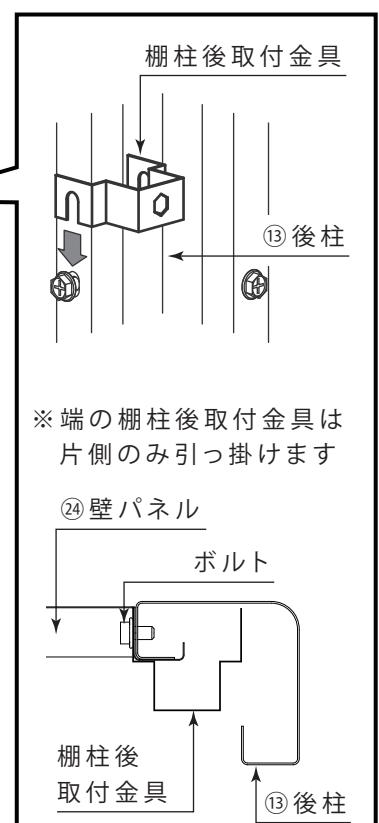
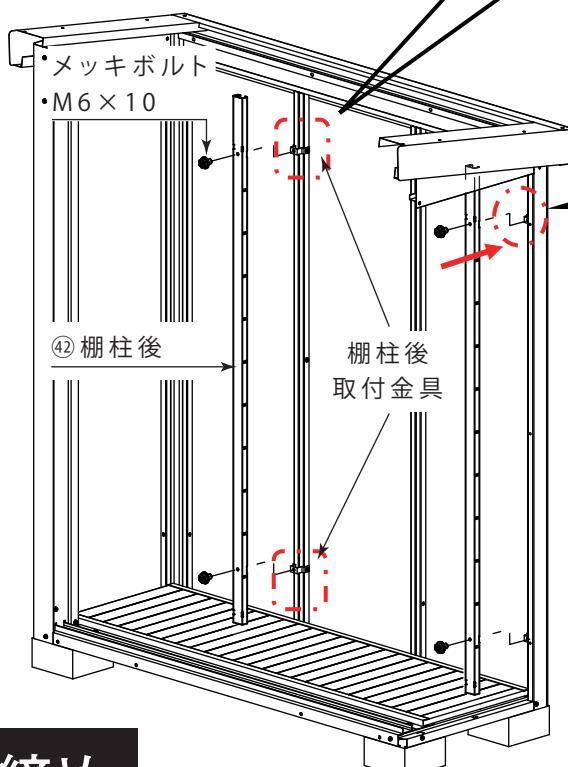
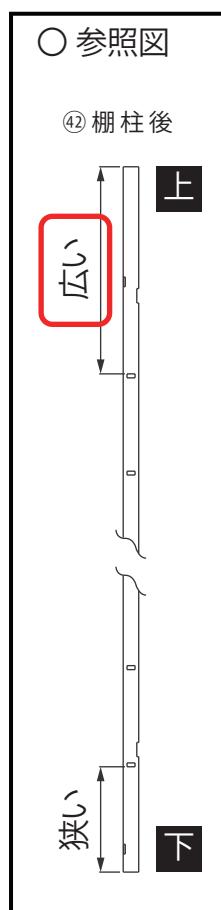
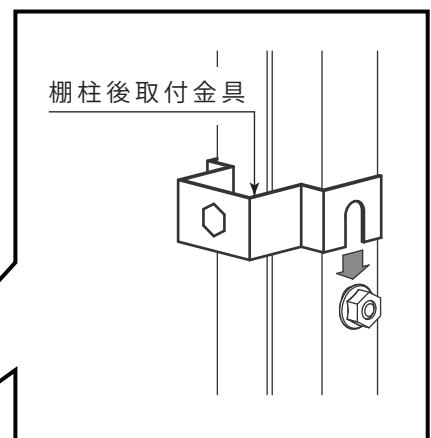
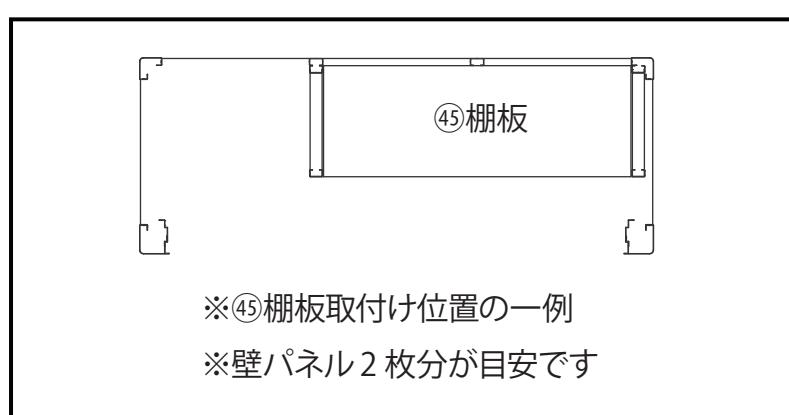
20-① 棚柱・棚板の組立

- (1) 棚板後取付金具を②壁パネルに取付けます。
※②壁パネルを固定しているボルト・ナットを使用します。一度緩めてください。
- (2) ④棚柱後を棚柱後取付金具に取付けます。
※④棚柱後には上下勝手があります。
角穴の位置で確認してください。(下記参照図)

使用部品

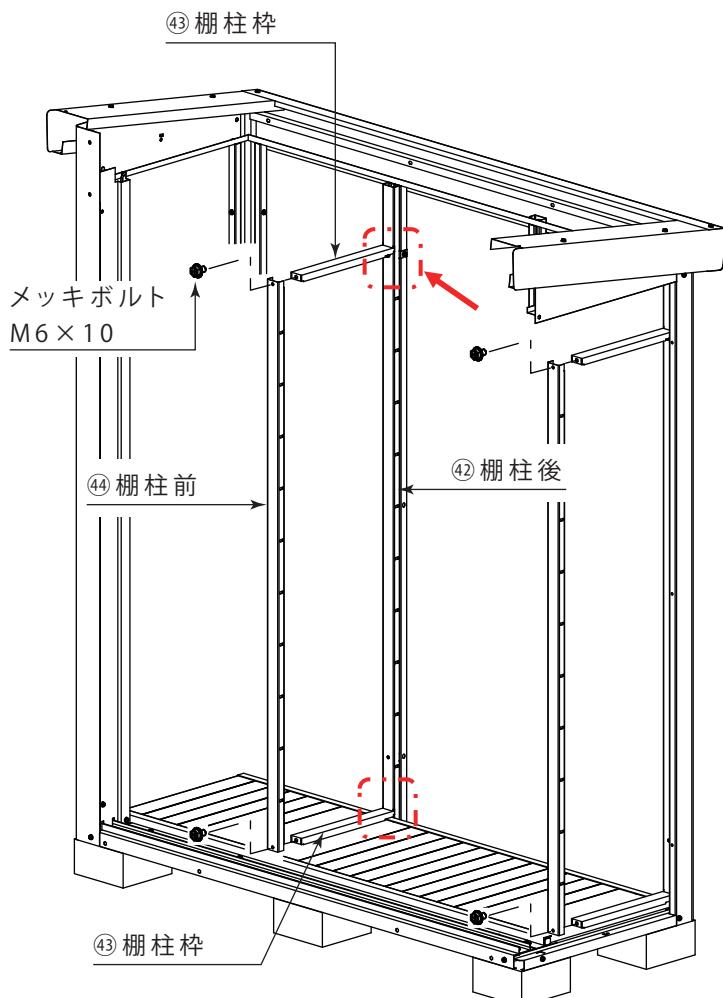
番号	部品名称	数量
④②	棚柱後	2
④③	棚柱枠	4
④④	棚柱前	2
④⑤	棚板	2

部品箱	棚柱後取付金具	4
	棚受け金具	8
	メッキボルト M6×10	8



20-②棚柱・棚板の組立

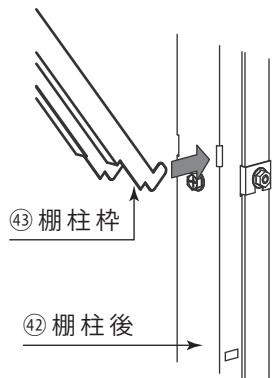
- (3) ④③棚柱枠を④②棚柱後の各穴に差し込むように取付けた後、④④棚柱前を④③棚柱枠に取付けます。
 ④④棚柱前には上下勝手はありません。



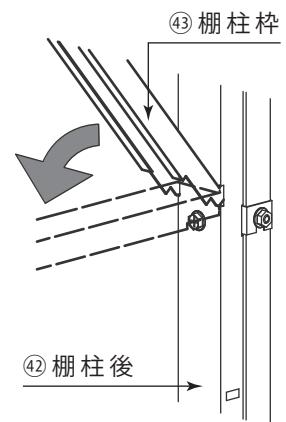
本締め

○ 参照図

- 手順1：
 棚柱枠を棚柱後の角穴に差し込む

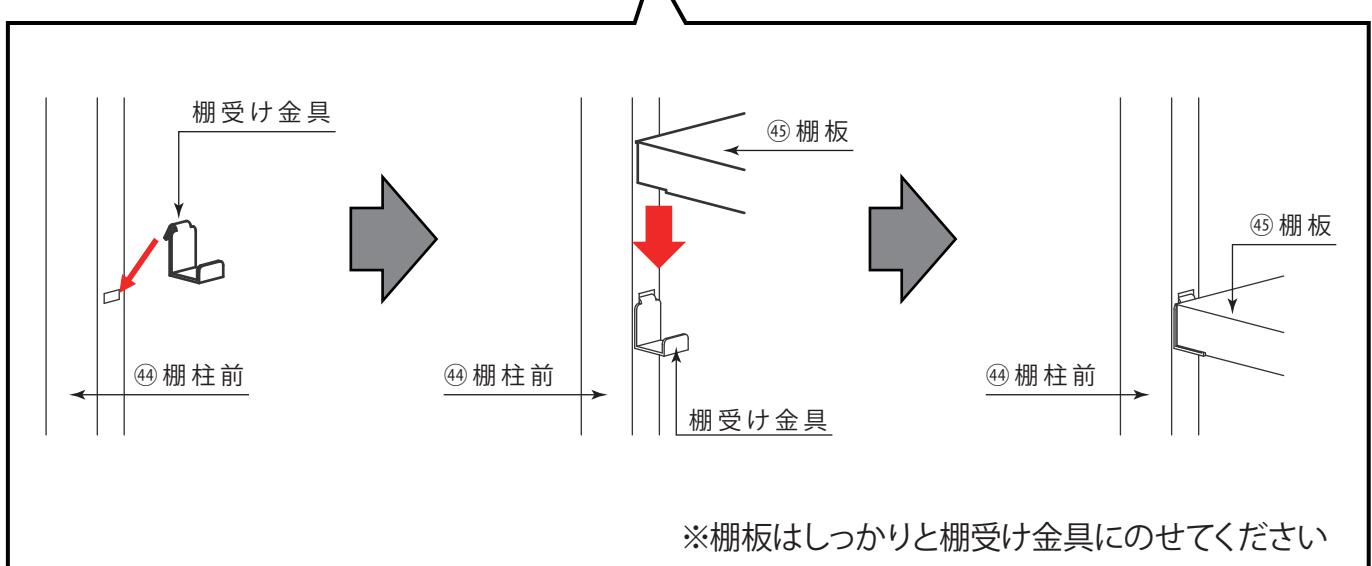
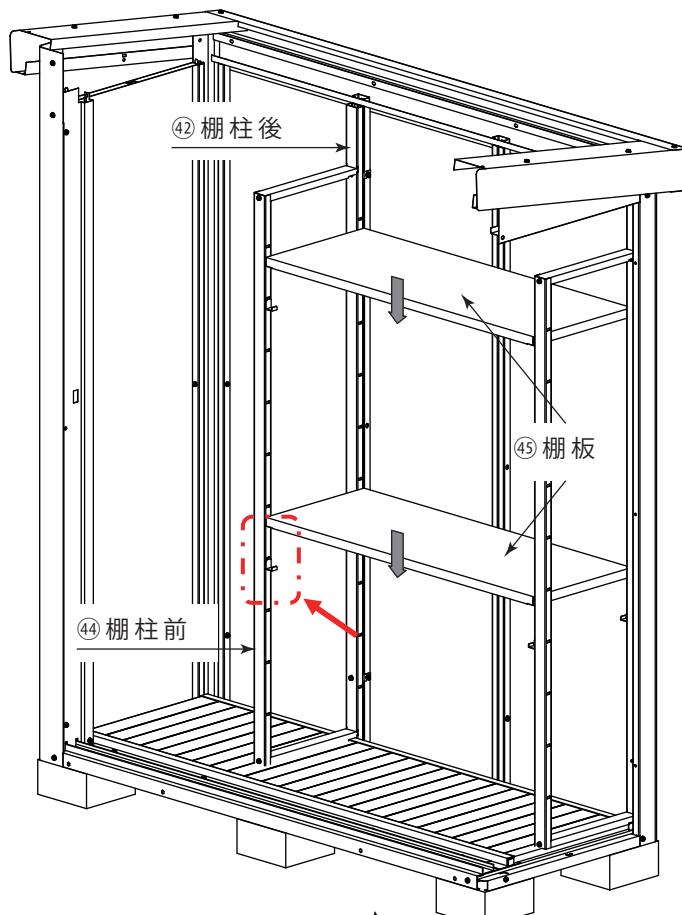


- 手順2：
 棚柱枠を下へ倒します



20-③棚柱・棚板の組立

(4) ④②棚柱後、④④棚柱前に棚受け金具を取付けて、④⑤棚板をのせます。

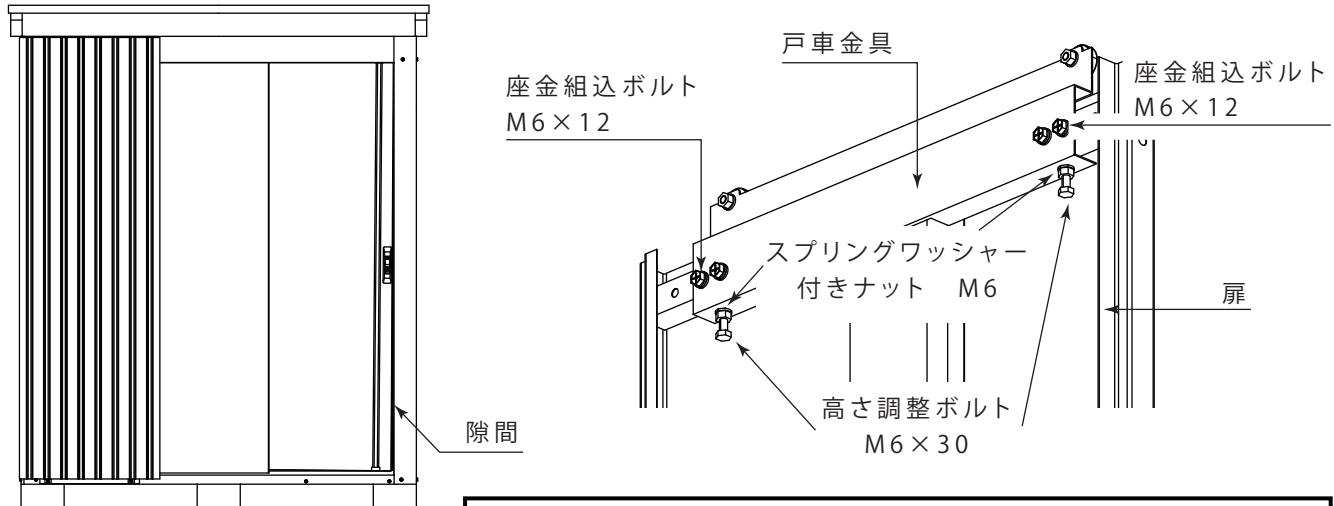


施工手順 (単位:mm)

21-① その他

(1) 扉を閉めた状態で柱と扉に隙間ができる場合は、

手順9：後扉の組立・手順10：前扉の組立を参考し扉の高さ調整を行ってください。



※図はリコシスタ

※図は右開きの場合

<扉の高さ調整について>

1. 物置庫内より、戸車金具の座金組込ボルトを緩めます。
2. 高さ調整ボルトのスプリングワッシャー付きナットを緩めます。
3. 柱に対して平行になるように
高さ調整ボルトを締め込み(または緩め)ます。
4. 調整後、戸車金具の座金組込ボルトを締め込みます
5. 高さ調整ボルトのスプリングワッシャー付きナットを
しっかりと締め込みます。

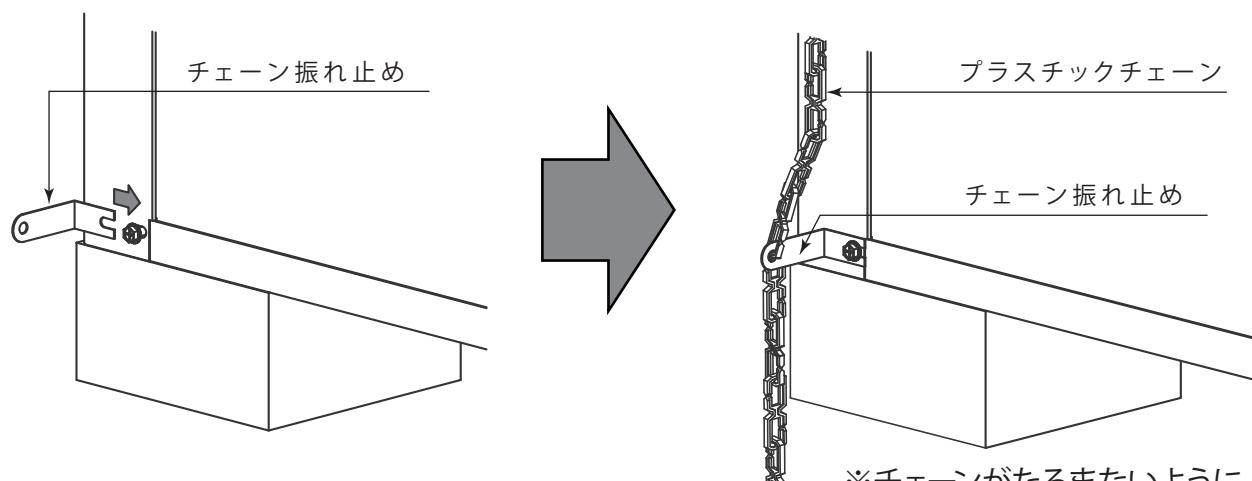
※高さ調整ボルト: 締め込む→上がる 、 緩める→下がる

(2) プラスチックチェーン側の後柱のボルトを緩めて、

チェーン振れ止めを取付けます。

使用部品

番号	部品名称	数量
部品箱	チェーン振れ止め	1



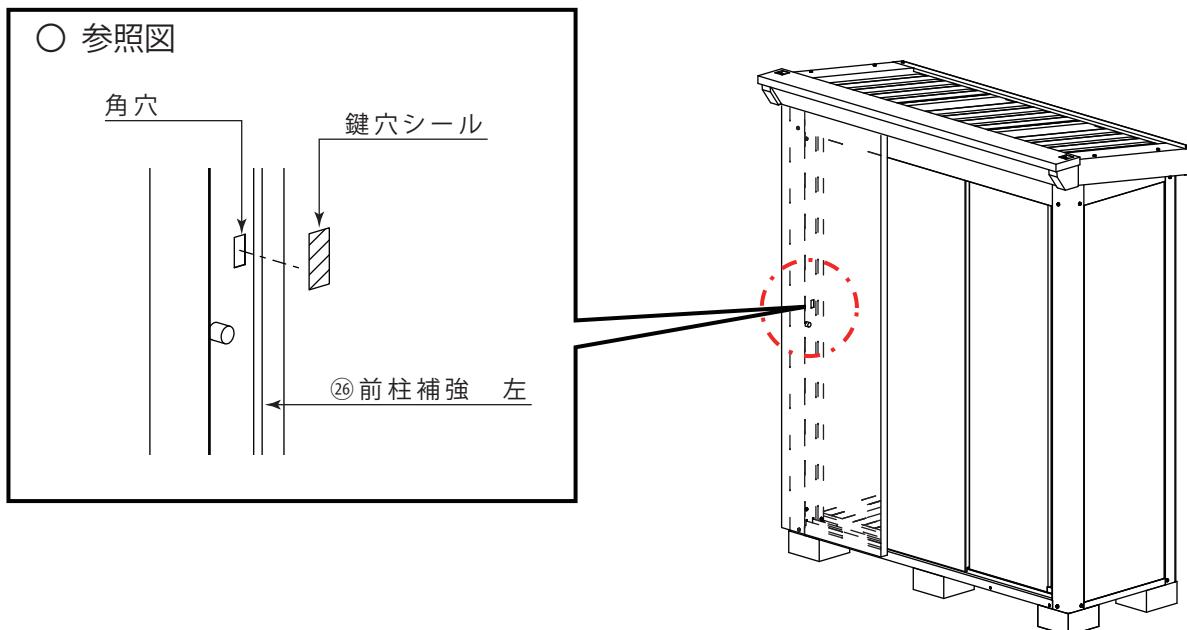
※チェーンがたるまないように
取付けてください。

21-② その他

(3) 開口部とは逆側の前柱補強にある角穴に鍵穴シールを貼ってください。

※右開きの場合は⑥前柱補強 左に貼付けます。

左開きの場合は⑦前柱補強 右に貼付けます。



※図はリコシスタ

※図は右開きの場合

工事店様へ

- ◆改造、変更はしないでください。
- ◆取付け終了後、製品が確実に固定されていることをご確認ください。



—40—

〒601-8317 京都市南区吉祥院新田式ノ段町45

TEL 075-681-2891 FAX 075-662-1190

株式会社 傳來工房

DSCK-IM1
2022.03A